



無料メルマガ特典



ブログで迷わず 最初の1円まで進む 30日設計書

作業型に戻らないための、
ブログ副業スタートロードマップ



迷い → 判断 → 行動

著者：うさぶろー



著作権について

本教材の著作権は、著者である「うさぶろー」に帰属します。

本教材は、メルマガ登録特典として、登録者ご本人が学習・実践に活用する目的で提供しています。

著者の許可なく、以下の行為を行うことを禁止します。

- ・本教材の全部または一部を無断で転載・複製すること
- ・PDF ファイルを第三者へ配布・共有すること
- ・内容をコピーして、自分の教材・記事・コンテンツとして公開すること
- ・販売、再配布、譲渡、アップロードすること
- ・文章・図解・構成を無断で二次利用すること

本教材は、ブログ副業を始める方が迷わず進むための参考資料です。
内容の実践によって得られる成果を保証するものではありません。

また、掲載している情報は作成時点の内容に基づいています。
WordPress、サーバー、各種サービスの仕様は変更される場合がありますので、実際に作業する際は公式情報もあわせてご確認ください。

本教材を通じて、あなたのブログ作りが少しでも迷いの少ないものになれば幸いです。

著者：うさぶろー

目次

第1部：準備編.....	6
Day1～Day7：作る前に決める	6
Day1：ブログの目的を決める	6
Day2：誰に向けて書くか決める	8
Day3：読者の迷いを書き出す.....	10
Day4：収益の出口を決める	12
Day5：核記事を決める	13
Day6：線サイトか面サイトか判断する	15
Day7：最初の 10 記事を決める	17
第2部：設計編.....	20
Day8～Day14：導線を作る	20
Day8：核記事の構成を作る	20
Day9：入口記事の役割を決める	23
Day10：行動記事を決める	26
Day11：比較記事を決める	28
Day12：収益記事の位置を決める	30
Day13：内部リンクの流れを作る	32
Day14：全体導線を見直す	35
第3部：WordPress 開設編.....	38
Day15～Day17：別冊マニュアルを見ながらブログを立ち上げる	38
Day15：WordPress で始める理由を理解し、サーバーを契約する	39
Day16：独自ドメインを取得し、WordPress をインストールする	43
Day17：最低限の初期設定をする	46
第4部：記事作成編.....	52
Day18～Day25：核記事・入口記事・行動記事を書く	52

Day18：WordPressの記事投稿方法を確認する	53
Day19：核記事を書き始める	57
Day20：核記事を完成させる	60
Day21：入口記事1を書く	64
Day22：入口記事2を書く	67
Day23：入口記事3を書く	70
Day24：行動記事を書く	72
Day25：比較記事または収益記事の下書きを作る	75
第4部のまとめ	79
第5部：公開・整備編	81
Day26～Day30：最初の1円へ近づける	81
Day26：内部リンクを入れる	82
Day27：タイトル・導入文・アイキャッチを整える	85
Day28：公開前チェックをする	89
Day29：公開してインデックス登録をリクエストする	94
Day30：次の30日計画を決める	97
第5部のまとめ	101
おわりに：1円はゴールではなく、成果を確認する最初の節目	102
最初の1円には意味がある	103
大きく稼ぐ前に、小さく動かす	103
迷ったら、作業ではなく流れに戻る	104
完璧に進めなくていい	105
次の30日でやること	106
最後に	107
巻末チェックリスト	109
30日完了チェックシート	109
第1部：準備編チェック	109

第2部：設計編チェック	110
第3部：WordPress 開設編チェック	111
第4部：記事作成編チェック	112
第5部：公開・整備編チェック	113
最低限ここだけやれば OK	114
次の30日へ進む前に確認すること	114
巻末チェックリストのまとめ	115

この設計書の進め方

30日は作業順の目安で、30日以内の収益を保証するものではありません。忙しい週は1つのDayを数日に分けてください。最初から全部を読み切らず、今日の1項目だけ進めます。

記事数は設計の練習用の例です。10記事をそろえることより、1記事が読者の疑問に答えることを優先します。すでにブログがある方は開設済みの作業を飛ばし、公開済みURLを不用意に変更しないでください。

第1部：準備編

Day1～Day7：作る前に決める

第1部では、WordPress を作る前に決めることを整理します。

ここを飛ばすと、作業型に戻りやすくなります。

逆に、ここを決めておくと、記事を書くときに迷いにくくなります。

第1部でやることは、次の7つです。

1. ブログの目的を決める
2. 誰に向けて書くか決める
3. 読者の迷いを書き出す
4. 収益の出口を決める
5. 核記事を決める
6. 線サイトか面サイトか判断する
7. 最初の10記事を決める

この7日間は、地味です。

でも、かなり重要です。

ここで作るのは、ブログの土台です。

Day1：ブログの目的を決める

今日やること

ブログで何をを目指すのかを決めます。

最初に決めるべきなのは、ブログの目的です。

「とりあえず稼ぎたい」だけでは、途中で迷います。

もちろん、収益を目指すことは大事です。

でも、もう少し具体的に決めておく必要があります。

- なぜブログを始めるのか
- 副業として何をしたいのか
- どのくらいの収益を目指すのか
- いつまでに最初の成果を確認したいのか
- 最初の 1 円をどう位置づけるのか

ここを最初に整理します。

なぜこれをやるのか

目的が曖昧なまま始めると、記事を書くたびに迷います。

- アクセスが少ないと不安になる
- 収益が出ないと焦る
- 他の人の成果を見るとブレる
- 別の副業がよく見える

これは、意志が弱いからではありません。

目的が曖昧だからです。

ブログはすぐに大きく稼げる副業ではありません。

だからこそ、最初に目的を決めておく必要があります。

この 30 日設計書では、最初の目標を「最初の 1 円」としています。

ただし、これは 1 円だけを目指すという意味ではありません。

最初の 1 円は、ブログの流れが動いた確認地点です。

書き出すこと

次の項目を、実際に書き出してください。

- 私がブログを始める理由：

- ブログで得たいもの:
- 最初の目標収益:
- 最初の1円を確認したい時期:
- ブログに使える時間:
- 避けたい状態:
- 続けるために大事にしたいこと:

今日のゴール

ブログを「なんとなく始める状態」から抜け出すことです。

今日の時点で完璧な答えは不要です。

ただし、目的を言葉にしてください。

言葉にできない目的は、途中で簡単にブレます。

Day2: 誰に向けて書くか決める

今日やること

読者像を決めます。

ブログは、自分が書きたいことを書く場所ではありません。

読者の迷いを拾い、判断を助ける場所です。

だから、まず誰に向けて書くのかを決めます。

ここが曖昧だと、記事の内容もブレます。

決めること

次の項目を決めます。

- 誰の悩みを拾うのか
- 初心者向けか、経験者向けか
- どんな不安を持つ人に届けるのか

- 読者は何で止まっているのか
- 読者は何を知れば前に進めるのか

最初から細かく決めすぎる必要はありません。

たとえば、ブログ副業なら、

- 会社員で副業ブログを始めたい人
- ブログに興味はあるが、本当に稼げるか不安な人
- 何から始めればいいのか分からない初心者
- 作業ばかり増えて止まりたくない人

このくらいで十分です。

なぜこれをやるのか

読者が決まらないと、記事の判断基準がなくなります。

- この記事は初心者向けなのか
- 経験者向けなのか
- 今すぐ始めたい人向けなのか
- まだ迷っている人向けなのか

ここが曖昧だと、文章がぼやけます。

読者を決めることは、文章を絞ることです。

絞るから、伝わります。

書き出すこと

次の形で書いてください。

- 私のブログの読者は：
- その人が抱えている不安は：
- その人が避けたい失敗は：
- その人が知りたいことは：
- その人に最終的になってほしい状態は：

今日のゴール

記事の相手をはっきりさせることです。

「誰に向けて書くか」が見えると、次に書くべき記事も見えやすくなります。

Day3: 読者の迷いを書き出す

今日やること

読者が検索する前に抱えている悩みを整理します。

入口記事は、読者の迷いを拾う記事です。

だから、まず読者がどんなことで迷っているのかを書き出します。

書き出すこと

次の項目を出してください。

- 不安
- 疑問
- 比較していること
- 避けたい失敗
- 知りたいこと
- 行動できない理由

たとえば、ブログ副業ならこうです。

- ブログは本当に稼げるのか
- 今から始めても遅くないのか
- 何を書けばいいのか
- 独学でいいのか
- 教材は必要なのか
- 初期費用はいくらか
- スマホ副業とどちらがいいのか
- せどりとどちらが向いているのか
- 続かなかったらどうしよう

- 最初の 1 円はどう作ればいいのか

こうした迷いが、入口記事の元になります。

なぜこれをやるのか

多くの人は、いきなりキーワードから考えます。

でも、キーワードの前にあるのは読者の迷いです。

読者は、検索窓に言葉を入れる前に、心の中で迷っています。

その迷いを拾える記事が、読まれる入口になります。

今日の作業

まず、読者の迷いを 20 個書き出してください。

質より量で OK です。

その後、似ているものをまとめます。

まとめ方の例は次の通りです。

- 不安系
- 費用系
- 比較系
- 始め方系
- 失敗回避系
- 収益化系

今日のゴール

入口記事の元になる悩みを集めることです。

ここに出した迷いは、後で記事タイトルや内部リンク設計に使います。

Day4: 収益の出口を決める

今日やること

最終的にどこへ読者を導くかを決めます。

ブログは、読者を集めるだけでは収益になりません。

読者をどこへ進めるのか。

ここを決める必要があります。

出口の例

出口には、次のようなものがあります。

- アフィリエイト商品
- 教材レビュー
- 無料相談
- メルマガ登録
- サービス申し込み
- 商品購入
- 資料請求
- 口座開設
- 予約ページ

教育型のブログでは、出口を段階で考えることもあります。

いきなり商品やサービスを紹介するのではなく、まずは読者に必要な考え方を届ける。

そのうえで、さらに学びたい人にはメルマガや無料講座へ進んでもらう。

そして、読者が自分に必要だと判断できた段階で、教材やサービスを紹介する。

このように、

- まず信頼を作る
- 次に判断基準を渡す
- 最後に必要な選択肢を提示する

という流れにすると、売り込みではなく自然な導線になります。

なぜこれをやるのか

出口がないブログは、収益化しにくいです。

読者が記事を読んでくれても、次に進む場所がなければ終わります。

ただし、いきなり売ればいいわけではありません。

読者が判断できる状態になってから、自然に出口へ進める。

これが大事です。

書き出すこと

次の項目を書いてください。

- 最終的な収益商品やサービス:
- その前に読者に登録してほしいもの:
- 読者が購入や申し込み前に不安に思うこと:
- その不安を解消する記事:
- 出口へ進める前に必要な判断記事:

今日のゴール

記事を書く前に、収益の着地点を決めることです。

出口が決まると、核記事と導線が決めやすくなります。

Day5: 核記事を決める

今日やること

読者に判断してもらう中心記事を決めます。

核記事とは、ブログの心臓になる記事です。

入口記事で拾った読者を、核記事へ集めます。

そして核記事で、読者に判断してもらいます。

核記事で決めること

核記事では、次のことを整理します。

- ・読者が一番大きく迷うこと
- ・なぜ迷っているのか
- ・よくある誤解
- ・判断基準
- ・進むべき方向
- ・次に読む記事
- ・メルマガや収益記事への流れ

ブログ副業なら、たとえば次のような記事が核記事になります。

ブログ副業は本当に稼げる？手が止まる理由と、続けるための考え方

これは単なる説明記事ではありません。

読者に、

「ブログ副業をやるかどうか」

「作業型で進めるのか、設計型で進めるのか」

を判断してもらう記事です。

なぜこれをやるのか

核記事がないまま入口記事を増やすと、記事がバラバラになります。

入口記事は読まれるかもしれません。

でも、読まれて終わります。

核記事があると、入口記事の役割が変わります。

入口記事は、核記事へ読者を送る記事になります。

書き出すこと

次の項目を埋めてください。

- 私のブログの核記事タイトル案：
- 核記事で扱う一番大きな迷い：
- 読者に渡す判断基準：
- 核記事から次に送る記事：
- 核記事からメルマガへ送る位置：
- 核記事から収益記事へ送る流れ：

今日のゴール

ブログの心臓になる記事を決めることです。

ここが決まると、入口記事の向きが決まります。

Day6: 線サイトか面サイトか判断する

今日やること

自分のブログが線サイト向きか、面サイト向きかを判断します。

ブログには型があります。

すべてのブログに 100 記事が必要なわけではありません。

30 記事前後で導線が作れるサイトもあります。

100 記事以上かけて広げるべきサイトもあります。

判断基準

次の項目で判断してください。

- 読者のゴールが 1 つに集まりやすいか
- 悩みが広く分散しているか

- 30 記事前後で導線が作れそうか
- 50 記事以上で広く拾う必要があるか
- 核記事を 1 本に絞りやすいか
- 複数の核記事が必要になりそうか

線サイト向き

線サイトは、1 本の導線で読者を進めるサイトです。

向いているジャンルは次のようなものです。

- 副業
- 教材
- スクール
- 転職
- 保険相談
- 通信回線
- クレジットカード
- 資格講座

読者のゴールが比較的是っきりしている場合は、線サイト向きです。

面サイト向き

面サイトは、複数の記事で読者の悩みを広く受け止めるサイトです。

向いているジャンルは次のようなものです。

- 家や空き家の問題
- 相続
- 税金
- 電子マネー
- 節約
- 旅行
- 健康
- 老後資金
- 生活情報

読者の悩みが広く分かれる場合は、面サイト向きです。

今日のゴール

必要な記事数と広げ方の目安を決めることです。

迷った場合は、まず小さな線を作る。

その後で面へ広げる。

この順番が安全です。

Day7：最初の10 記事を決める

今日やること

最初に作る10 記事を、役割ごとに決めます。

最初の10 記事は、ただ数をそろえるために書くものではありません。

目的は、小さな導線を作ることです。

記事の内訳

最初の10 記事は、次のように考えます。

- ・核記事：1 記事
- ・入口記事：5記事
- ・行動記事：1 記事
- ・比較記事：1記事
- ・収益記事：1記事
- ・補助記事：1記事

設計シート

次の形で決めてください。

① 核記事

読者に何を判断してもらう記事か：

記事タイトル案:

リンク先: 行動記事またはメルマガ

② 入口記事 1

拾う悩み:

記事タイトル案:

リンク先: 核記事

③ 入口記事 2

拾う悩み:

記事タイトル案:

リンク先: 核記事

④ 入口記事 3

拾う悩み:

記事タイトル案:

リンク先: 核記事

⑤ 入口記事 4

拾う悩み:

記事タイトル案:

リンク先: 核記事

⑥ 入口記事 5

拾う悩み:

記事タイトル案:

リンク先: 核記事

⑦ 行動記事

次に何をすればいいか:

記事タイトル案:

リンク先: 収益記事またはメルマガ

⑧ 比較記事

比較するもの:

記事タイトル案:

リンク先: 核記事または収益記事

⑨ 収益記事

紹介する商品・サービス:

記事タイトル案:

リンク先: 公式ページ・申込ページなど

⑩ 補助記事

不足している不安・疑問:

記事タイトル案:

リンク先: 核記事

なぜこれをするのか

最初の 10 記事が決まっていないと、毎回迷います。

- 今日は何を書こう
- このテーマでいいのか
- この記事は必要なのか
- どこへリンクすればいいのか

こうした迷いが、作業を止めます。

最初の 10 記事を決めておけば、迷いが減ります。

今日のゴール

「何を書けばいいか分からない」をなくすことです。

ここまでで、第 1 部は完了です。

次の第 2 部では、決めた 10 記事をどうつなげるか。

つまり、ブログの導線を作っていきます。

第 2 部：設計編

Day8～Day14: 導線を作る

第 1 部では、ブログを作る前に決めることを整理しました。

- ブログの目的
- 読者像
- 読者の迷い
- 収益の出口
- 核記事
- 線サイトか面サイトか
- 最初の 10 記事

ここまで決めたことで、ブログの土台はかなり見えてきたはずです。

でも、まだこの段階では、記事は「点」のままです。

次に必要なのは、記事同士をつなげることです。

- 入口記事で読者の悩みを拾う。
- 核記事で判断してもらう。
- 行動記事で次にやることを示す。
- 比較記事で迷いを整理する。
- 収益記事やメルマガへ自然につなげる。

この流れを作ることで、ブログはただの記事の集まりではなくなります。

この第 2 部では、読者が迷わず進めるための導線を作っていきます。

Day8: 核記事の構成を作る

今日やること

核記事の見出し構成を作ります。

核記事は、ブログの中心になる記事です。

入口記事で拾った読者を集め、そこで読者に判断してもらう役割があります。

だから、核記事はただ詳しく説明する記事ではありません。

読者が、

「自分はどうすればいいのか」

「この方向に進んでいいのか」

「次に何をすればいいのか」

を判断できる記事にする必要があります。

核記事に入れる要素

核記事には、次の要素を入れます。

- 読者が抱えている大きな迷い
- なぜその迷いが生まれるのか
- よくある誤解
- 判断基準
- 間違いやすい進め方
- 正しい順番
- 次に読む記事
- メルマガや収益記事への自然な流れ

ここで大事ななのは、情報量ではありません。

読者が判断できるかどうかです。

核記事の基本構成

核記事は、次のような流れにすると作りやすくなります。

① 導入文

読者の不安や迷いを拾う

② 結論

この記事で伝える判断を先に出す

③ なぜ迷うのか

読者が判断できずに止まっている原因を整理する

④ よくある失敗

判断基準がないまま、なんとなく選んでしまう失敗を整理する

⑤ 判断基準

どう考えればいいのかを示す

⑥ 正しい順番

何から確認し、どの順番で進めればいいのかを示す

⑦ 次に読む記事

具体的な行動記事や、さらに詳しい記事へつなげる

なぜこれをやるのか

核記事の構成が曖昧だと、入口記事から読者を送っても動きません。

読者は記事を読んでも、

「結局どうすればいいの？」

となってしまう。

核記事の目的は、読者に「判断」してもらうことです。

そのためには、最初から構成を作っておく必要があります。

書き出すこと

次の項目を埋めてください。

- 核記事タイトル案：
- 読者の一番大きな迷い：
- この記事で出す結論：

- 読者が間違えやすいこと:
- 渡す判断基準:
- 次に読ませる記事:
- メルマガや収益記事へつなげる位置:

今日のゴール

判断記事として機能する核記事の骨組みを作ることです。

ここで見出し構成ができれば、後で本文を書くときにかなり楽になります。

Day9: 入口記事の役割を決める

今日やること

入口記事ごとに、拾う悩みと送り先を決めます。

入口記事は、検索から読者が最初に入ってくる記事です。

でも、入口記事は読まれて終わりでは弱いです。

入口記事の役割は、読者の小さな迷いを拾い、核記事へつなげることです。

入口記事で決めること

入口記事ごとに、次の項目を決めます。

- どんな悩みを拾うのか
- 読者はどの段階にいるのか
- この記事だけで何を解決するのか
- この記事の後にどこへ進めるのか
- 核記事へどう自然につなげるのか

たとえば、ブログ副業なら入口記事には次のようなものがあります。

- ブログ副業は続かないのか
- ブログは何を書けばいいのか
- ブログの初期費用はいくらか

・独学と教材はどちらがいいのか

・スマホ副業とブログ副業はどちらがいいのか

これらの記事は、それぞれ違う悩みを拾います。

でも、最終的には核記事へつながります。

内部リンクの考え方

入口記事から核記事へ送るときは、無理にリンクを置くのではありません。

読者が、

「この悩みの根本をもう少し整理したい」

「自分がブログを続けられるか判断したい」

「作業型に入らない進め方を知りたい」

と思ったタイミングで案内します。

たとえば、次のような流れです。

この記事では、ブログ初期費用について整理しました。

ただ、本当に大事なのは、安く始めることではありません。

安く始めても、順番を間違えると遠回りになります。

ブログ副業で多くの人が止まる理由と、続く人の違いについては、こちらの記事で詳しく整理しています。

▶【ブログ副業は本当に稼げる？】手が止まる理由と、続けるための考え方

なぜこれをやるのか

入口記事の送り先が決まっていないと、読者は記事を読んで終わります。

記事単体では役に立っても、ブログ全体の導線にはなりません。

入口記事を書く前に、必ず「どこへ送るか」を決めておく。

これが大事です。

書き出すこと

入口記事ごとに、次の形で整理してください。

① 入口記事タイトル案：

拾う悩み：

読者の段階：

記事内で解決すること：

リンク先：

リンクを入れる位置：

② 入口記事タイトル案：

拾う悩み：

読者の段階：

記事内で解決すること：

リンク先：

リンクを入れる位置：

③ 入口記事タイトル案：

拾う悩み：

読者の段階：

記事内で解決すること：

リンク先：

リンクを入れる位置：

今日のゴール

入口記事を「読まれて終わり」にしないことです。

入口記事ごとに役割と送り先を決めておけば、記事を書いた後の内部リンクで迷いません。

Day10: 行動記事を決める

今日やること

核記事を読んだ後、読者に何をしてもらうかを決めます。

核記事で判断した読者は、次にこう思います。

「じゃあ、何から始めればいいのか？」

「具体的にどう進めればいいのか？」

「最初にやることは何？」

この疑問に答えるのが、行動記事です。

行動記事の役割

行動記事は、読者を次の一步へ進める記事です。

たとえば、次のような記事です。

- ブログ副業の始め方
- 最初に決めること
- WordPress を作る前に準備すること
- 最初の記事を書く順番
- 最初の 1 円までの流れ

行動記事で大事ななのは、作業手順だけを並べないことです。

この教材の考え方では、

設計 → 開設 → 記事作成 → 導線整備

の順番が大事です。

だから、行動記事でも「いきなり作る」ではなく、「何を決めてから作るのか」を伝えます。

行動記事に入れる内容

行動記事には、次の要素を入れると整理しやすいです。

- 最初にやること
- やらなくていいこと
- 始める前に決めること
- WordPress を作るタイミング
- 最初に書く記事
- 内部リンクの考え方
- 次に進む記事やメルマガへの案内

なぜこれをやるのか

核記事だけでは、読者はまだ動けない場合があります。

判断はできた。

でも、次の作業が分からない。

この状態で止まる人は多いです。

だから、核記事の次に行動記事を置きます。

行動記事は、読者を「納得」から「実行」へ進める橋です。

書き出すこと

次の項目を埋めてください。

- 行動記事タイトル案：
- 核記事の後に読ませる理由：
- 読者が次に知りたいこと：
- この記事で示す順番：
- この記事から次に送る記事：
- メルマガへつなげる場合の位置：

今日のゴール

判断した読者を次の行動へ進める記事を決めることです。

行動記事があると、核記事の出口が自然になります。

Day11: 比較記事を決める

今日やること

読者が迷いやすい選択肢を整理する記事を決めます。

読者は、何かを始める前に比較します。

- 独学か教材か
- 無料か有料か
- ブログか他の副業か
- AとBどちらがいいのか
- 今始めるべきか、後にするべきか

この比較の迷いを整理するのが比較記事です。

比較記事の役割

比較記事は、どちらかを強引に選ばせる記事ではありません。

読者が自分に合う選択をしやすくする記事です。

大事なのは、

- どちらが向いている人か
- どちらが向いていない人か
- 選ぶ前に何を確認すべきか
- 判断基準は何か

を整理することです。

比較記事の例

ブログ副業なら、次のような比較記事が考えられます。

- 独学と教材はどちらがいいのか
- ブログ副業とスマホ副業はどちらがいいのか
- ブログ副業とせどりはどちらが会社員向きか
- 無料ブログとWordPress はどちらがいいのか
- 有料テーマは必要か、無料テーマで十分か

比較記事からの導線

比較記事の導線は、記事内容によって変わります。

基本は次のどちらかです。

- 比較で迷っている人を核記事へ戻す
- 判断が進んだ人を収益記事や行動記事へ送る

たとえば、「独学と教材」の比較記事なら、読者がまだ迷っている場合は核記事へ戻します。

一方で、教材の必要性を判断できた読者には、教材レビュー記事へ進めても自然です。

なぜこれをやるのか

比較記事を作ると、読者の迷いを減らせます。

人は迷っている状態では動きません。

比較記事は、読者の頭の中を整理するための記事です。

ただし、比較記事も単独で終わらせないことが大事です。

比較した後に、次にどこへ進めるかを決めておきます。

書き出すこと

次の項目を埋めてください。

- 比較記事タイトル案:
- 比較するもの:
- 読者が迷っている理由:
- 判断基準:
- 向いている人:
- 向いていない人:
- リンク先:
- リンクを入れる位置:

今日のゴール

読者の迷いを減らす比較記事を設計することです。

比較記事があると、読者が自分で判断しやすくなります。

Day12: 収益記事の位置を決める

今日やること

収益記事をどこに置くかを決めます。

収益記事とは、商品やサービスを紹介する記事です。

ただし、収益記事は置く場所を間違えると売り込みに見えます。

読者がまだ迷っている段階でいきなり商品を出しても、自然には動きません。

収益記事を置くタイミング

収益記事は、読者がある程度判断した後に置きます。

たとえば、次の流れです。

- 入口記事で悩みを拾う
- 核記事で判断基準を渡す
- 行動記事で始め方を示す
- 比較記事で選択肢を整理する
- 収益記事で必要な商品やサービスを紹介する

この順番なら、収益記事が急に見えません。

読者にとって、自然な次の選択肢になります。

収益記事で決めること

収益記事では、次のことを決めます。

- 何を紹介するのか
- 誰に向いているのか
- 誰には向いていないのか
- どんな悩みを解決するのか
- 注意点は何か
- 買う前に何を判断すべきか
- どの記事から送るのか

売り込みにしない考え方

収益記事は、商品売る記事ではありません。

でも、読者から見ると「選択肢を判断する記事」であるべきです。

だから、メリットだけではなく注意点も書きます。

向いている人だけではなく、向いていない人も書きます。

読者が自分で判断できるようにします。

この姿勢があると、売り込み感はかなり減ります。

メルマガとの関係

教育型ブログでは、収益記事の前にメルマガを挟むこともあります。

いきなり商品を紹介するのではなく、まずメルマガで考え方や判断基準を届ける。

そのうえで、読者が必要だと判断できた段階で商品やサービスを紹介する。

この流れなら、売り込みではなく自然な提案になります。

書き出すこと

次の項目を埋めてください。

- 収益記事タイトル案:
- 紹介する商品やサービス:
- 読者が抱えている悩み:
- その商品が役立つ理由:
- 向いている人:
- 向いていない人:
- 送る元の記事:
- メルマガを挟むかどうか:

今日のゴール

売り込みではなく、自然な提案になる位置を決めることです。

収益記事は、早く置けばいいわけではありません。

読者が判断できる流れの中に置くことが大事です。

Day13: 内部リンクの流れを作る

今日やること

記事同士のつながりを決めます。

ここまでで、核記事、入口記事、行動記事、比較記事、収益記事の役割が見えてきました。

次は、それらを内部リンクでつなげます。

基本の流れ

内部リンクの基本は、次の通りです。

- 入口記事 → 核記事
- 核記事 → 行動記事

・ 行動記事 → 収益記事またはメルマガ

・ 比較記事 → 核記事または収益記事

・ 収益記事 → 公式ページや申込ページ

この流れを作ることで、読者が迷わず進めます。

内部リンクは関連記事ではない

内部リンクは、ただの関連記事ではありません。

読者を次の判断へ進める道です。

だから、関連しているから貼るのではなく、

「この読者は次に何を知れば判断が進むか」

で考えます。

たとえば、費用の記事を読んでいる人は、次に「安く始める方法」だけでなく、「そもそもブログ副業を続けられるか」を判断したいかもしれません。

その場合は、核記事へ送ります。

リンク文の作り方

リンク文は、ただ記事タイトルを置くだけでは弱いです。

前後に短い説明を入れてください。

悪い例：

▶ ブログ副業は本当に稼げる？

良い例：

費用の不安が整理できたら、次は「ブログ副業を続けられるか」を考える段階です。

多くの人が途中で止まる理由と、続く人の違いはこちらで整理しています。

▶ ブログ副業は本当に稼げる？手が止まる理由と、続けるための考え方

このように、リンクの前に理由を入れると自然です。

書き出すこと

次の形で内部リンクを決めてください。

① 入口記事 1

リンク先:

リンクを入れる位置:

リンク前の一文:

② 入口記事 2

リンク先:

リンクを入れる位置:

リンク前の一文:

③ 入口記事 3

リンク先:

リンクを入れる位置:

リンク前の一文:

④ 核記事

リンク先:

リンクを入れる位置:

リンク前の一文:

⑤ 行動記事

リンク先:

リンクを入れる位置:

リンク前の一文:

今日のゴール

読者が迷わず進める導線を作ることです。

記事が点のままだと、読者は動きません。

内部リンクで点を線にしていきます。

Day14: 全体導線を見直す

今日やること

Day1～Day13 で決めた流れを確認します。

明日からは、WordPress 開設編に入ります。

その前に、ブログ全体の導線を見直します。

ここで確認しておく、WordPress を作った後に迷いにくくなります。

確認すること

次の項目を確認してください。

- ブログの目的は決まっているか
- 読者像は明確か
- 読者の迷いは書き出せているか
- 収益の出口は決まっているか
- 核記事は決まっているか
- 最初の 10 記事は決まっているか
- 入口記事から核記事へ流れているか
- 核記事から行動記事へ流れているか
- 収益記事やメルマガへの流れは自然か
- 内部リンクの理由は説明できるか

導線チェック

ここでは、簡単な導線図を書いてください。

例:

入口記事 1

↓

核記事

↓

行動記事

↓

メルマガ

↓

収益記事

入口記事 2

↓

核記事

↓

行動記事

↓

収益記事

比較記事

↓

核記事

↓

収益記事

このように、読者がどう進むかを書き出します。

頭の中だけで考えるより、紙やメモに書いた方が分かりやすいです。

なぜこれをやるのか

設計が曖昧なまま WordPress を作ると、また作業型に戻りやすくなります。

- デザインをどうするか
- テーマをどうするか
- プラグインをどうするか
- 細かい設定をどうするか

こうした作業に意識が奪われます。

だから、作業に入る前に、導線を確認しておきます。

今日のゴール

WordPress を作る前に、ブログ全体の流れを整えることです。

別冊が手元にない場合

本編の「別冊マニュアル」は、お持ちの場合の補助資料です。ない場合でも、この章の完成条件を使い、契約先サーバーとWordPress・テーマの公式手順で作業できます。未確認の別冊を探すために進行を止める必要はありません。

本書は開設の順番を扱います。個々の現行画面は、利用するサービスの公式案内で確認してください。

ここまでできたら、第2部は完了です。

次の第3部では、別冊WordPress 立ち上げ実践マニュアルを見ながら、実際にブログを立ち上げていきます。

で

第 3 部:WordPress 開設編

Day15～Day17:別冊マニュアルを見ながらブログを立ち上げる

第 2 部では、ブログ全体の導線を作りました。

- 入口記事
- 核記事
- 行動記事
- 比較記事
- 収益記事
- メルマガへの流れ
- 内部リンクの流れ

ここまで決めたことで、ブログの設計図はかなり見えてきたはずです。

ここから、ようやく WordPress を作っていきます。

多くの人は、ブログを始めるときに、いきなり WordPress を作ります。

- サーバーを契約する
- ドメインを取る
- テーマを入れる
- デザインをいじる
- プラグインを入れる

もちろん、これらは必要な作業です。

でも、設計がないまま作業に入ると、途中で迷いやすくなります。

- サイト名をどうするか
- カテゴリーをどうするか
- 何の記事を書くか

- どこへリンクするか
- 何を収益化するか

こうしたことが決まっていないと、WordPress を作ったあとに止まります。

だから、この 30 日設計書では、先に設計を作りました。

ここからの 3 日間は、別冊の **WordPress 立ち上げ実践マニュアル** 式を使いながら、記事を書ける土台を作っていきます。

30 日設計書では、細かい画面操作までは解説しません。

操作で迷ったら、別冊マニュアルを見ながら進めてください。

この第 3 部のゴールは、完璧なデザインのブログを作ることはありません。

ゴールは、記事を書ける状態にすることです。

Day15:WordPress で始める理由を理解し、サーバーを契約する

今日やること

無料ブログではなく WordPress を使う理由を確認し、レンタルサーバーを契約します。

使う別冊マニュアルは、次の 2 つです。

- 1 章:無料ブログじゃだめなの？なぜ WordPress ブログがいいのか？
- 2-1:サーバー契約編

今日は、いきなり作業だけを進める日ではありません。

まず、なぜ WordPress でブログを作るのかを確認します。

無料ブログでも、記事を書くことはできます。

でも、ビジネスとしてブログを育てるなら、WordPress の方が向いています。

理由は、ブログを自分の資産として積み上げやすいからです。

今日確認すること

別冊マニュアルを見ながら、次のことを確認してください。

- 無料ブログと WordPress の違い
- 無料ブログのメリットとデメリット
- WordPress を使う理由
- ブログを資産として積み上げる意味
- レンタルサーバーとは何か
- エックスサーバーの契約手順
- 契約プランの選び方
- 本契約手続き

レンタルサーバー選びで迷う方へ

レンタルサーバーは、WordPress ブログを始めるために必要な土台です。

ただ、初心者の方はここで迷いやすいです。

「エックスサーバーでいいのか」

「もっと安いサーバーを選ぶべきか」

「どのプランを選べばいいのか」

こうした点で止まりそうな方は、先にこちらの記事で判断基準を確認してください。

▶ WordPress ブログを始めるならエックスサーバーでいい？

初心者向けに判断基準を解説

この記事では、エックスサーバーが向いている人・向いていない人、契約前に確認することを初心者向けに整理しています。

なぜこれをやるのか

WordPress の作業は、初心者には少し面倒に感じる場合があります。

- サーバー
- ドメイン
- SSL
- テーマ
- プラグイン

聞き慣れない言葉が出てくるからです。

でも、ここで大事なのは、言葉をすべて完璧に理解することではありません。

まずは、ブログを書く場所を用意することです。

WordPress は、最初こそ少し手間がかかります。

でも、自分で管理できるブログを持つことで、記事や導線を積み上げやすくなります。

無料ブログでは、運営側の都合で制限がかかることもあります。

自分のブログを長期的に育てたいなら、最初から WordPress で作る方が安心です。

今日の作業

今日は、次の順番で進めてください。

- ① 別冊「無料ブログじゃだめなの？」を読む
- ② WordPress を使う理由を確認する
- ③ 別冊「サーバー契約編」を開く
- ④ エックスサーバーの公式ページへ進む
- ⑤ スタンダードプランを基本候補として確認する
- ⑥ 必要情報を入力する
- ⑦ 申込み後のメールを確認する
- ⑧ 本契約手続きを完了する
- ⑨ ログイン情報をメモする

メモしておくこと

サーバー契約後は、次の情報を必ずメモしてください。

- エックスサーバーのログイン URL
- サーバーID
- メールアドレス
- 契約プラン
- 契約日
- 更新日
- 支払い方法
- 管理画面に入るための情報

パスワードは、安全な場所に保管してください。

紙のメモでも、パスワード管理ツールでも構いません。

ただし、適当にスクリーンショットだけで済ませると、あとで探せなくなることがあります。

今日やらなくていいこと

今日は、次のことはやらなくて OK です。

- デザインを決める
- テーマを細かく選ぶ
- プラグインを入れる
- 記事を書く
- カテゴリーを作り込む
- ヘッダー画像を作る
- サイドバーを整える

今日は、サーバー契約までで十分です。

あれもこれもやろうとすると、疲れて止まります。

今日のゴール

WordPress ブログを作るためのサーバーを用意することです。

今日の時点では、ブログが完成していなくても大丈夫です。

まずは、ブログを置く土地を借りる。

そんなイメージで進めてください。

Day16: 独自ドメインを取得し、WordPress をインストールする

今日やること

ブログの住所になる独自ドメインを取得し、WordPress をインストールします。

使う別冊マニュアルは、次の 2 つです。

- 2-2:ドメイン契約編
- 2-3:WordPress 構築編

サーバーは、ブログを置く土地のようなものです。

ドメインは、ブログの住所です。

WordPress は、その土地に建てるブログ本体です。

今日は、この 3 つをつなげて、自分のブログにアクセスできる状態を作ります。

今日確認すること

別冊マニュアルを見ながら、次のことを確認してください。

- ドメインとは何か
- ドメイン名の決め方
- ドメイン取得方法
- ドメインの設定
- WordPress インストール方法
- 管理画面 URL
- ユーザー名

- パスワード
- ブログの表示確認

ドメイン名を決めるときの考え方

ドメイン名は、あとから簡単に変えにくい部分です。

だから、ある程度考えて決めましょう。

ただし、ここで何日も止まる必要はありません。

ドメイン名は、次の基準で考えると決めやすいです。

- 短めで覚えやすい
- ブログテーマと大きくズれていない
- 日本語ではなく英数字にする
- 長すぎない
- 怪しく見えない
- 将来少し広げても違和感がない

たとえば、ブログ副業のサイトなら、ブログ・副業・設計・始め方などが連想できる名前でも OK です。

ただし、最初から完璧な名前にしようとしすぎないでください。

ドメイン名より大事なものは、記事と導線です。

今日の作業

今日は、次の順番で進めてください。

- ① 別冊「ドメイン契約編」を開く
- ② ドメイン名を 3 案ほど出す
- ③ 取得できるか確認する
- ④ ドメインを取得する
- ⑤ ドメインをサーバーに設定する
- ⑥ 別冊「WordPress 構築編」を開く
- ⑦ WordPress をインストールする
- ⑧ 管理画面 URL を確認する

- ⑨ WordPress 管理画面にログインする
- ⑩ ブログが表示されるか確認する

メモしておくこと

WordPress をインストールしたら、次の情報を必ずメモしてください。

- ブログ URL
- 管理画面 URL
- ログイン ID
- パスワード
- 登録メールアドレス
- ドメイン名
- WordPress をインストールした日

この情報は、今後何度も使います。

特に管理画面 URL とログイン情報は、すぐに分かる場所に保管してください。

うまく表示されないとき

ドメインや WordPress を設定した直後は、すぐに表示されないことがあります。

これは珍しいことではありません。

設定が反映されるまで、少し時間がかかる場合があります。

焦って何度も設定を変えると、余計に分からなくなることがあります。

表示されないときは、まず次の点を確認してください。

- ドメイン名を間違えていないか
- 設定してから時間が経っているか
- サーバー契約が完了しているか
- WordPress のインストール先を間違えていないか
- 管理画面 URL にアクセスしているか

それでも分からない場合は、別冊マニュアルの該当箇所に戻って確認してください。

今日やらなくていいこと

今日は、次のことはやらなくて OK です。

- デザインを整える
- プラグインを大量に入れる
- 記事を書く
- ヘッダー画像を作る
- 細かい色設定をする
- プロフィールを完成させる

今日は、ブログが立ち上がれば十分です。

最初から見た目を完璧にしようとする、作業が止まります。

今日のゴール

自分の WordPress ブログを開設することです。

今日の時点では、見た目がシンプルでも問題ありません。

まずは、自分のブログにアクセスできる状態を作る。

それが今日のゴールです。

Day17:最低限の初期設定をする

今日やること

記事を書く前に、最低限必要な WordPress 初期設定を終わらせます。

使う別冊マニュアルは、次の 5 つです。

- 3-1:WordPress テーマインストール
- 3-2:タイトルとキャッチフレーズ
- 3-4:パーマリンク設定
- 3-5:SSL 化
- 4 章:プラグインインストール

必要に応じて、次の別冊も見てください。

- 3-3: サイドバーの設定方法

ただし、サイドバーは今日中に完璧にしなくて OK です。

今日の考え方

WordPress を作ると、どうしても見た目を整えたいくなります。

- 色を変える
- ヘッダーを作る
- プロフィールを作る
- サイドバーを整える
- 細かいデザインを触る

もちろん、これらも大事です。

でも、最初に時間をかけすぎると、記事を書く前に疲れます。

この 30 日設計書の目的は、きれいなブログを完成させることではありません。

小さな導線を作ることです。

だから、今日は最低限の初期設定だけに絞ります。

今日やる初期設定

今日やることは、次の通りです。

- Cocoon テーマを設定する
- サイトタイトルを設定する
- キャッチフレーズを設定する
- パーマリンクを「投稿名」にする
- SSL 化する
- 必要最低限のプラグインを入れる
- 記事を書ける状態か確認する

Cocoon テーマを設定する

テーマは、ブログの見た目や機能に関わる部分です。

別冊マニュアルでは、無料テーマのCocoon を前提にしています。

まだテーマが決まっていない場合は、まずCocoon で十分です。

最初から有料テーマを買う必要はありません。

必要な機能やサポートが無料テーマで足りない場合に、予算と比べて有料テーマを検討します。

今日の時点では、記事を書ける状態を優先してください。

サイトタイトルとキャッチフレーズを設定する

サイトタイトルは、ブログの名前です。

Day1～Day7 で決めた目的や読者像とズレないようにしましょう。

キャッチフレーズは、思いつかなければ空欄でも構いません。

無理にかっこいい言葉を入れるより、分かりやすい方が大事です。

パーマリンクを設定する

パーマリンクは、記事URL の形です。

最初に設定しておくことが大事です。

基本は、別冊マニュアル通りに「投稿名」に設定します。

記事を書くたびに、短い英数字のURL にする意識を持ってください。

たとえば、

- blog-start
- first-yen
- blog-cost
- wordpress-start

パーマリンクの注意

「投稿名」の設定は新規開設時の例です。すでに公開記事があるサイトでは、この作業のために既存URLを変更しないでください。

のような形です。

SSL 化する

HTTPSは通信を暗号化するための設定です。サイト全体の安全性や情報の正しさを保証するものではありません。

設定ができていないと、ブラウザに「保護されていない通信」と表示されることがあります。

読者に不安を与えないためにも、必ず設定しておきましょう。

別冊マニュアルを見ながら、サーバー側とWordPress 側の設定を確認してください。

プラグインを入れる

プラグインは、WordPress を便利にする追加機能です。

ただし、入れすぎは禁物です。

最初は、最低限でOK です。

必要なものだけ入れてください。

候補は次のようなものです。

- ・画像を軽くするプラグイン
- ・バックアップ用プラグイン
- ・リンク切れチェック用プラグイン
- ・日本語環境を整えるプラグイン
- ・サイトマップ系のプラグイン

ただし、Cocoon に標準で入っている機能と重複するものは、無理に入れなくてOK です。

サイドバーは後回しでもOK

サイドバーは、最初から完璧にしなくて大丈夫です。

プロフィールやSNS がまだ決まっていない場合は、後で整えればOK です。

最初に最低限あるとよいものは、次の程度です。

- 検索
- 新着記事
- プロフィール
- カテゴリー

ただし、記事がまだ少ない段階では、サイドバーの見栄えにこだわりすぎなくて大丈夫です。

今日やらなくていいこと

今日は、次のことはやらなくて OK です。

- デザインを細かく作り込む
- ヘッダー画像を完璧にする
- サイドバーを完成させる
- SNS 連携を完璧にする
- 有料テーマを比較し続ける
- プラグインを大量に調べる
- トップページを作り込む

これらは、後から整えられます。

今やるべきことは、記事を書ける土台を作ることです。

初期設定チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- WordPress にログインできる
- ブログ URL にアクセスできる
- テーマが設定されている
- サイトタイトルが設定されている
- キャッチフレーズを設定した、または空欄にした
- パーマリンクを「投稿名」にした
- SSL 化を確認した
- 必要最低限のプラグインを入れた

- 記事投稿画面を開ける
- 下書き保存ができる

今日のゴール

記事を書ける土台を整えることです。

今日の時点で、ブログの見た目が完璧である必要はありません。

大事なのは、明日から記事作成に入れる状態になっていることです。

ここまでできたら、第 3 部は完了です。

次の第 4 部では、いよいよ記事を書いていきます。

ただし、ここでも作業型には戻りません。

核記事から書き、入口記事をつなげ、行動記事へ進める。

その順番で、小さな導線を作っていきます。

第 4 部：記事作成編

Day18～Day25：核記事・入口記事・行動記事を書く

第 3 部では、WordPress を立ち上げ、記事を書ける土台を整えました。

ここから、いよいよ記事を書いていきます。

ただし、ここでも作業型には戻りません。

多くの人は、WordPress ができるとすぐに、

- 書けそうな記事から書く
- 思いついたテーマで書く
- 検索されそうなキーワードから書く
- とにかく記事数を増やす

という流れに入りがちです。

もちろん、記事を書くことは大事です。

でも、順番を間違えると、記事数は増えても導線ができません。

この 30 日設計書では、まず核記事を書きます。

そのあと、入口記事を書きます。

そして、行動記事や比較記事、収益記事の下書きを作ります。

順番は、次の通りです。

1. WordPress の記事投稿方法を確認する
2. 核記事を書き始める
3. 核記事を完成させる
4. 入口記事 1 を書く
5. 入口記事 2 を書く
6. 入口記事 3 を書く

7. 行動記事を書く
8. 比較記事または収益記事の下書きを作る

この第 4 部の目的は、完璧な記事を大量に作ることはありません。

目的は、小さな導線の部品を作ることです。

- 核記事
- 入口記事
- 行動記事
- 比較記事または収益記事

この部品がそろくと、次の第 5 部で内部リンクを入れて、記事を点から線にしていけます。

Day18:WordPress の記事投稿方法を確認する

今日やること

WordPress で記事を書く基本操作を確認します。

使う別冊マニュアルは、次の部分です。

- ・5 章:WordPress 記事投稿方法について解説

今日は、本格的に記事を書く前に、投稿画面の使い方を確認します。

WordPress では、文章を書くこと自体は難しくありません。

ただ、最初は見出し、リスト、画像、リンク、アイキャッチ、パーマリンクなどで迷いやすいです。

ここで基本操作を確認しておくと、明日からの記事作成がかなり楽になります。

確認すること

別冊マニュアルを見ながら、次の項目を確認してください。

- 投稿と固定ページの違い

- 記事タイトルの入力方法
- 本文の入力方法
- 見出しの設定方法
- リストの使い方
- リンクの入れ方
- 画像の入れ方
- アイキャッチ画像の設定
- カテゴリの設定
- パーマリンクの設定
- 下書き保存の方法
- プレビューの確認方法
- 公開ボタンの位置

投稿と固定ページの違い

ブログ記事を書くときは、基本的に「投稿」を使います。

投稿は、日々追加していくブログ記事です。

一方で、固定ページは、登録ページやプロフィール、お問い合わせページなど、時系列に流れないページに使います。

たとえば、

- ブログ記事: 投稿
- メルマガ登録ページ: 固定ページ
- プロフィール: 固定ページ
- お問い合わせ: 固定ページ

というイメージです。

ここを間違えると、あとで管理しにくくなるので、最初に確認しておきましょう。

見出しの使い方

本文では、基本的に H2 以下を使います。

多くの WordPress テーマでは、記事タイトルが H1 になります。

そのため、本文中で H1 は使わない方が自然です。

本文内では、

- 大きな区切り:H2
- H2 中の小さな区切り:H3

という使い方をします。

見出しは、ただ文字を大きくするためのものではありません。

記事の流れを整理するためのものです。

リストの使い方

確認項目や手順は、リストにすると読みやすくなります。

たとえば、

ブログを始める前に決めることは、次の通りです。

- 誰に向けて書くか
- どんな悩みを拾うか
- 核記事は何か
- どこへ読者を導くか

このように、並べる要素がある場合は、文章で続けずにリストにしてください。

初心者向けの記事ほど、リストをうまく使うと読みやすくなります。

今日やらなくていいこと

今日は、次のことはやらなくて OK です。

- 記事を完成させる
- デザインを細かく整える
- 装飾を作り込む
- プラグインを追加する
- 公開まで進める

今日は、記事投稿の操作を確認する日です。

操作で迷わない状態を作っておけば、明日から本文に集中できます。

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① WordPress 管理画面にログインする
- ② 投稿画面を開く
- ③ 新規投稿を作成する
- ④ タイトル入力欄を確認する
- ⑤ 本文入力欄を確認する
- ⑥ 見出しを試しに入れてみる
- ⑦ リストを試しに入れてみる
- ⑧ リンクを試しに入れてみる
- ⑨ アイキャッチ設定欄を確認する
- ⑩ 下書き保存とプレビューを確認する

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- ☒ WordPress の投稿画面を開ける
- ☒ タイトルを入力できる
- ☒ 本文を入力できる
- ☒ 見出しを設定できる
- ☒ リストを作れる
- ☒ リンクを入れられる
- ☒ アイキャッチ画像の設定場所が分かる
- ☒ パーマリンクの設定場所が分かる
- ☒ 下書き保存ができる
- ☒ プレビューを確認できる

今日のゴール

WordPress で記事を書ける状態になることです。

完璧に使いこなす必要はありません。

まずは、記事を書き始められる状態になれば OK です。

Day19: 核記事を書き始める

今日やること

核記事の本文を書き始めます。

核記事は、ブログの中心になる記事です。

入口記事で拾った読者を集め、そこで読者に判断してもらいます。

だから、核記事はただ情報を並べる記事ではありません。

読者の迷いを整理し、判断基準を渡し、次の行動へ進める記事です。

まず確認すること

Day5 と Day8 で決めた内容を見直してください。

- 核記事タイトル案
- 読者の一番大きな迷い
- この記事で出す結論
- 読者が間違いやすいこと
- 渡す判断基準
- 次に読ませる記事
- メルマガや収益記事へつなげる位置

この内容を見ながら、本文を書いていきます。

核記事の書き出し

核記事の導入文では、読者の不安を拾います。

いきなり説明から入るより、まず読者の心の中にある迷いを言葉にしてください。

たとえば、ブログ副業なら、

- 本当に稼げるのか
- 今から始めても遅くないのか
- 自分にもできるのか
- 途中で止まってしまうのではないのか
- 何から始めればいいのか

こうした不安を拾います。

読者は、自分の不安を言葉にしてもらえると、

「これは自分のための記事だ」

と感じやすくなります。

今日書く範囲

今日は、核記事を全部完成させなくて OK です。

まずは、次の部分を書きます。

- 導入文
- 結論
- なぜ迷うのか
- よくある失敗
- 判断基準の前半

ここまで書ければ十分です。

核記事は重要なので、1 日で無理に完成させなくて大丈夫です。

意識すること

核記事を書くときは、次の点を意識してください。

- 読者の迷いを拾う
- 結論を早めに出す
- 情報だけで終わらせない
- 判断基準を渡す
- 作業型に戻らない流れを作る

- 次に進む理由を作る

特に大事なものは、判断基準です。

読者が読み終わったあとに、

「自分はこう考えればいいんだ」

と思える記事にする必要があります。

書き出し例

たとえば、ブログ副業の核記事なら、次のような入り方ができます。

ブログ副業は、本当に稼げるのか。

「オワコンだ」

「今から始めても遅い」

「9割は失敗する」

そんな言葉を見ると、不安になると思います。

でも、結論から言うと、ブログ副業は今からでも可能性があります。

ただし、何も考えずに記事を書き続ければ稼げる、という話ではありません。

多くの人が止まる原因は、才能不足ではなく、設計不足です。

この記事では、ブログ副業で途中で止まる理由と、作業型に入らず続けるための考え方を整理します。

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① Day5 と Day8 のメモを開く
- ② 核記事のタイトルを確認する
- ③ 読者の迷いを 3～5 個書き出す
- ④ 導入文を書く
- ⑤ 結論を書く

- ⑥ よくある失敗を書く
- ⑦ 判断基準の前半を書く
- ⑧ 下書き保存する
- ⑨ プレビューで読み流す
- ⑩ 明日続きを書く場所をメモする

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- ☒ 核記事タイトルを決めた
- ☒ 導入文を書いた
- ☒ 読者の迷いを拾えている
- ☒ 結論を早めに出している
- ☒ よくある失敗を書いた
- ☒ 判断基準の方向性を書いた
- ☒ 情報だけの記事になっていない
- ☒ 下書き保存した

今日のゴール

ブログの中心記事を形にし始めることです。

今日は完成しなくても大丈夫です。

まず、核記事の骨格を本文にしていきましょう。

Day20: 核記事を完成させる

今日やること

昨日書き始めた核記事を、最後まで書きます。

今日の目的は、核記事を公開できる状態に近づけることです。

ただし、完璧な文章にする必要はありません。

まずは、最初から最後まで流れが繋がっている状態を作ります。

昨日の続きから書く

昨日書いた内容を読み返してください。

確認することは、次の通りです。

- 導入文で読者の迷いを拾えているか
- 結論が早めに出ているか
- よくある失敗が分かりやすいか
- 判断基準につながっているか
- 話が横に広がりすぎしていないか

読み返したら、続きを書きます。

今日書く範囲

今日は、次の部分を書きます。

- 判断基準の後半
- 正しい順番
- 次にやること
- メルマガや行動記事への流れ
- まとめ

核記事の最後では、読者を放置しないようにします。

読み終えた読者に、

「次に何をすればいいのか」

を示してください。

核記事の出口

核記事の出口は、ブログの設計によって変わります。

たとえば、

- 行動記事へ送る

- メルマガ登録ページへ送る
- 比較記事へ送る
- 収益記事へ送る

などがあります。

教育型ブログなら、核記事からメルマガへ送るのは自然です。

ただし、いきなり強く売り込むのではなく、

「もっと迷わず進めたい人へ」

という形で案内すると自然です。

出口文の例

たとえば、メルマガへ送る場合は、次のような文が使えます。

ここまで読んで、

「作業型に戻らず、最初の 1 円まで迷わず進みたい」

そう感じた方へ。

私は、ブログ副業で迷わず進むための 30 日設計書を無料でお渡ししています。

記事を書く前に何を決めるべきか。

どんな順番で WordPress を作り、記事を書き、導線を整えるのか。

その流れをまとめています。

▶ 無料で 30 日設計書を受け取る

このように、読者の気持ちが高まった後に案内します。

確認すること

核記事を書き終えたら、次の点を確認してください。

- 読者が判断できる内容か

- 情報だけで終わっていないか
- 作業型と設計型の違いが伝わるか
- 次に進む記事があるか
- メルマガ導線が自然か
- 収益記事へ急ぎすぎしていないか

核記事は、売るためだけの記事ではありません。

読者の迷いを整理し、次の行動へ進める記事です。

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① 昨日の核記事を読み返す
- ② 判断基準の続きを書く
- ③ 正しい順番を書く
- ④ 次にやることを書く
- ⑤ メルマガや行動記事への流れを書く
- ⑥ まとめを書く
- ⑦ タイトルと本文のズレを確認する
- ⑧ 下書き保存する
- ⑨ プレビューで読む
- ⑩ 気になる箇所をメモする

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- ☒ 核記事を最後まで書いた
- ☒ 読者の迷いを整理できている
- ☒ 判断基準を渡せている
- ☒ 次にやることを示している
- ☒ 行動記事やメルマガへの流れがある
- ☒ 売り込みすぎしていない
- ☒ 下書き保存した
- ☒ プレビューで確認した

今日のゴール

核記事を公開できる状態に近づけることです。

まだ細かい修正は後でできます。

まずは、核記事を最後まで書き切りましょう。

Day21: 入口記事 1 を書く

今日やること

最初の入口記事を書きます。

入口記事は、読者の小さな悩みを拾う記事です。

核記事がブログの中心なら、入口記事は読者が最初に入ってくる入口です。

入口記事の目的は、読者の悩みに答えたいうえで、必要に応じて核記事へ進んでもらうことです。

入口記事で大事なこと

入口記事では、1 つの悩みに絞ります。

あれもこれも書こうとすると、記事の軸がぼやけます。

たとえば、

- ブログの初期費用はいくらか
- ブログは続かないのか
- ブログは何を書けばいいのか
- 独学と教材はどちらがいいのか

このように、1 記事につき 1 つの悩みを扱います。

今日書く入口記事

Day7 で決めた入口記事 1 を使います。

確認してください。

- 入口記事タイトル案
- 拾う悩み
- リンク先
- 核記事へ送る理由

このメモを見ながら、本文を書きます。

入口記事の基本構成

入口記事は、次の流れにすると書きやすいです。

① 導入文

読者の悩みを拾う

② 結論

最初に答えを出す

③ 理由

なぜその結論になるのか

④ 具体例

読者がイメージしやすい例を出す

⑤ 注意点

間違いやすいポイントを補足する

⑥ 次に読む記事

悩みの根本を整理する核記事へ送る

内部リンクは最後に意識する

入口記事では、最後に核記事へつなげます。

ただし、無理にリンクを入れる必要はありません。

記事の内容から自然につなげます。

たとえば、

この記事では、ブログの初期費用について整理しました。

ただ、本当に大事なのは、安く始めることだけではありません。

安く始めても、順番を間違えると遠回りになります。

ブログ副業で多くの人が止まる理由と、続く人の違いについては、こちらで詳しく整理しています。

▶ 核記事へのリンク

このように、入口記事の悩みから核記事へつながる理由を入れます。

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① Day7 の入口記事 1 を確認する
- ② 拾う悩みを 1 つに絞る
- ③ 導入文を書く
- ④ 結論を書く
- ⑤ 理由を書く
- ⑥ 具体例を書く
- ⑦ 注意点を書く
- ⑧ 核記事へつなげる文章を書く
- ⑨ 下書き保存する
- ⑩ プレビューで読む

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- ☒ 入口記事 1 を書いた
- ☒ 悩みが 1 つに絞られている
- ☒ 導入文で読者の不安を拾っている
- ☒ 結論が早めに出ている
- ☒ 具体例がある

- ☑ 注意点がある
- ☑ 核記事へつながる流れがある
- ☑ 下書き保存した

今日のゴール

入口記事から核記事への流れを作ることです。

入口記事は、単体で完結させるだけではなく、ブログ全体の導線として考えてください。

Day22: 入口記事 2 を書く

今日やること

2 本目の入口記事を書きます。

昨日は入口記事 1 を書きました。

今日は、別の角度から読者の迷いを拾います。

入口記事は、数を増やすために書くものではありません。

読者の違う悩みを拾い、核記事へつなげるために書きます。

入口記事 1 と重なりすぎないようにする

今日書く記事は、昨日の記事と悩みが重なりすぎないようにしてください。

たとえば、昨日が「ブログ初期費用」の記事なら、今日は、

- ブログは何を書けばいいのか
- ブログは続かないのか
- 独学で始めてもいいのか
- スマホ副業とブログ副業はどちらがいいのか

など、違う切り口にします。

同じような悩みの記事を増やしすぎると、読者にも自分にも分かりにくくなります。

今日確認すること

Day7 で決めた入口記事 2 を見直してください。

- 拾う悩みは何か
- 入口記事 1 と違う角度か
- どの読者を拾う記事か
- 核記事へどうつなげるか

ここを確認してから書き始めます。

入口記事 2 の役割

入口記事 2 では、別の読者を拾います。

ブログ副業に興味がある人でも、悩みは人によって違います。

- 費用が不安な人
- 続けられるか不安な人
- 何を書けばいいか分からない人
- 独学でいいのか迷う人
- 他の副業と比較している人

こうした違う悩みを、それぞれ入口記事で拾います。

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① Day7 の入口記事 2 を確認する
- ② 入口記事 1 と悩みが重なっていないか確認する
- ③ 導入文を書く
- ④ 結論を書く
- ⑤ 理由を書く
- ⑥ 具体例を書く
- ⑦ 注意点を書く
- ⑧ 核記事へつなげる文章を書く
- ⑨ 下書き保存する
- ⑩ プレビューで読む

リンク前の文章例

入口記事 2 でも、最後は自然に核記事へつなげます。

たとえば、ブログが続かない不安を扱った記事なら、次のように案内できます。

ブログが続かないのは、意志が弱いからとは限りません。

多くの場合、何を書いて、どこへ向かうのかが見えていないことが原因です。

ブログ副業で多くの人が止まる理由と、それでも続く人の違いについては、こちらで詳しく整理しています。

▶ 核記事へのリンク

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- ☒ 入口記事 2 を書いた
- ☒ 入口記事 1 と違う悩みを拾っている
- ☒ 読者の不安に共感している
- ☒ 結論が分かりやすい
- ☒ 具体例がある
- ☒ 注意点がある
- ☒ 核記事へつながる流れがある
- ☒ 下書き保存した

今日のゴール

入口を増やししながら、導線は 1 本に保つことです。

入口記事が増えても、送り先がバラバラになると読者は迷います。

基本は、入口記事から核記事へ。

この流れを意識してください。

Day23: 入口記事 3 を書く

今日やること

3 本目の入口記事を書きます。

ここまでで、入口記事を 2 本書きました。

今日は、さらに別の悩みを拾います。

3 本目まで書くと、少しずつ入口が広がってきます。

ただし、ここでも大事なものは記事数ではありません。

それぞれの記事に役割があることです。

3 本目で拾う悩み

3 本目の入口記事では、まだ拾えていない悩みを扱います。

たとえば、

- ブログは才能がないと無理なのか
- 何を書けばいいのか
- 独学で続けられるのか
- 副業としてブログは遅いのか
- スマホ副業とどちらがいいのか
- せどりとどちらが向いているのか

などです。

読者が検索しそうな悩みを、1 つ選んでください。

書く前に確認すること

書く前に、次の点を確認します。

- 入口記事 1、2 と悩みが違うか
- 読者の不安が具体的か

- この記事だけで解決する範囲はどこか
- 最後に核記事へ自然につながるか

入口記事は、悩みを拾う記事です。

すべてを解決しようとしなくて大丈夫です。

悩みの入口を整理し、根本の判断は核記事へつなげます。

書き方のポイント

入口記事 3 では、読者の不安にしっかり共感してください。

初心者は、自分の悩みが正しいのかどうか分からないことがあります。

たとえば、

「ブログは才能がないと無理なのでは？」

「今から始めても遅いのでは？」

「自分には書けないのでは？」

こうした悩みは自然です。

まず、その不安を否定しないこと。

そのうえで、判断基準を示します。

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① Day7 の入口記事 3 を確認する
- ② 入口記事 1、2 と違う悩みか確認する
- ③ 導入文を書く
- ④ 結論を書く
- ⑤ 理由を書く
- ⑥ 具体例を書く
- ⑦ 注意点を書く
- ⑧ 核記事へつなげる文章を書く

- ⑨ 下書き保存する
- ⑩ プレビューで読む

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- ☒ 入口記事 3 を書いた
- ☒ 入口記事 1、2 と違う悩みを拾っている
- ☒ 読者の不安を否定していない
- ☒ 結論が分かりやすい
- ☒ 根本の判断を核記事へつなげている
- ☒ 下書き保存した
- ☒ プレビューで確認した

今日のゴール

読者の迷いをもう一つ拾うことです。

入口記事が 3 本できると、核記事へ読者を送る入口が少しずつ増えていきます。

ここまで来れば、小さな線の形が見え始めます。

Day24: 行動記事を書く

今日やること

核記事の次に読ませる行動記事を書きます。

入口記事で悩みを拾い、核記事で判断してもらった読者は、次こう思います。

「じゃあ、何から始めればいいのか？」

この疑問に答えるのが、行動記事です。

行動記事は、読者を止めないための記事です。

行動記事の役割

行動記事は、作業手順をただ並べる記事ではありません。

読者が次の一步を迷わず進めるようにする記事です。

この 30 日設計書の考え方では、行動記事でも順番が大事です。

いきなり WordPress を作るのではなく、

- 目的を決める
- 読者を決める
- 核記事を決める
- 最初の記事を決める
- WordPress を作る
- 記事を書く
- 内部リンクでつなげる

という流れを示します。

行動記事に入れる内容

行動記事には、次の内容を入れると分かりやすくなります。

- 最初にやること
- やらなくていいこと
- 作業に入る前に決めること
- WordPress を作るタイミング
- 最初に書く記事
- 内部リンクの考え方
- メルマガ登録や無料特典への案内

書く前に確認すること

Day10 で決めた内容を見直してください。

- 行動記事タイトル案
- 核記事の後に読ませる理由
- 読者が次に知りたいこと
- この記事で示す順番
- この記事から次に送る記事

- メルマガへつなげる場合の位置

この内容を見ながら書きます。

行動記事の基本構成

行動記事は、次の流れにすると書きやすいです。

① 導入文

核記事を読んだ後の悩みを拾う

② 結論

最初にやるべきことを示す

③ 始める前に決めること

目的、読者、出口、核記事を整理する

④ WordPress を作るタイミング

設計後に作ることを伝える

⑤ 最初の記事を書く順番

核記事、入口記事、行動記事の順番を示す

⑥ 内部リンクでつなげる

記事を点で終わらせないことを伝える

⑦ 次に進む案内

メルマガ登録ページや収益記事へつなげる

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① Day10 のメモを確認する
- ② 行動記事タイトルを確認する
- ③ 導入文を書く
- ④ 結論を書く
- ⑤ 始める前に決めることを書く
- ⑥ WordPress を作るタイミングを書く

- ⑦ 最初の記事を書く順番を書く
- ⑧ 内部リンクの考え方を書く
- ⑨ 次に進む案内を書く
- ⑩ 下書き保存する

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- ☒ 行動記事を書いた
- ☒ 核記事の次に読む理由がある
- ☒ 最初にやることが分かる
- ☒ 作業に入る前に決めることが書かれている
- ☒ WordPress を作るタイミングが自然
- ☒ 最初の記事を書く順番が分かる
- ☒ 次に進む案内がある
- ☒ 下書き保存した

今日のゴール

判断した読者を止めずに、次の行動へ進めることです。

行動記事があると、核記事の出口が自然になります。

Day25: 比較記事または収益記事の下書きを作る

今日やること

比較記事、または収益記事の下書きを作ります。

ここまでで、

- 核記事
- 入口記事
- 行動記事

を書いてきました。

今日は、その先にある選択肢を整理します。

読者が迷いやすい場合は比較記事。

読者がすでに行動に近い場合は収益記事。

どちらかを選んで、下書きを作ります。

比較記事を書く場合

比較記事は、読者の迷いを整理する記事です。

たとえば、

- 独学か教材か
- 無料ブログか WordPress か
- ブログか他の副業か
- 有料テーマか無料テーマか
- A 教材か B 教材か

こうした比較を扱います。

比較記事で大事ななのは、無理に一方を押しつけないことです。

読者が自分で判断できるように、向いている人と向いていない人を整理します。

比較記事の構成

比較記事は、次の流れにすると書きやすいです。

① 導入文

読者が迷っている状態を拾う

② 結論

どちらが向いているかを先に示す

③ 比較する2つの特徴

それぞれの違いを整理する

④ メリット・デメリット
良い面と注意点を書く

⑤ 向いている人・向いていない人
判断しやすくする

⑥ 次に読む記事
核記事や収益記事へつなげる

収益記事を書く場合

収益記事は、商品やサービスを紹介する記事です。

ただし、売り込みだけの記事にしないでください。

読者が自分で判断できる記事にします。

収益記事では、次のことを書きます。

- どんな商品やサービスか
- どんな悩みを解決するのか
- 向いている人
- 向いていない人
- 注意点
- 申し込み前に確認すること
- 公式ページへの案内

収益記事の注意点

収益記事では、メリットだけを書かないようにしてください。

メリットだけだと、読者は売り込みに感じます。

注意点も書くことで、信頼感が出ます。

たとえば、

- すべての人に向いているわけではない
- 短期で楽に稼げるものではない

- 自分の目的と合っているか確認する必要がある
- 買っただけでは成果は出ない

こうしたことも正直に書きます。

今日選ぶもの

今日は、次のどちらかを選んでください。

- 比較記事の下書きを作る
- 収益記事の下書きを作る

まだ収益記事を書くのが早いと感じる場合は、比較記事で OK です。

逆に、すでに紹介する商品やサービスが決まっている場合は、収益記事の下書きを作っても構いません。

今日の作業

比較記事を書く場合は、次の順番で進めてください。

- ① 比較するものを決める
- ② 読者が迷っている理由を書く
- ③ 結論を書く
- ④ それぞれの特徴を書く
- ⑤ メリット・デメリットを書く
- ⑥ 向いている人・向いていない人を書く
- ⑦ 次に読む記事への流れを書く
- ⑧ 下書き保存する

収益記事を書く場合は、次の順番で進めてください。

- ① 紹介する商品やサービスを決める
- ② 読者の悩みを書く
- ③ 商品やサービスの役割を書く
- ④ 向いている人を書く
- ⑤ 向いていない人を書く
- ⑥ 注意点を書く

- ⑦ 公式ページや申込ページへの流れを書く
- ⑧ 下書き保存する

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- ☒ 比較記事または収益記事の下書きを作った
- ☒ 読者が迷っている理由を書いた
- ☒ 結論を早めに出している
- ☒ 向いている人を書いた
- ☒ 向いていない人を書いた
- ☒ 注意点を書いた
- ☒ 次に進む流れがある
- ☒ 下書き保存した

今日のゴール

読者が次の選択をしやすい記事を作ることです。

比較記事や収益記事は、読者を急かすための記事ではありません。

読者が納得して次に進むための記事です。

第 4 部のまとめ

第 4 部では、実際に記事を書きました。

やったことは、次の通りです。

- WordPress の記事投稿方法を確認する
- 核記事を書き始める
- 核記事を完成させる
- 入口記事 1 を書く
- 入口記事 2 を書く
- 入口記事 3 を書く
- 行動記事を書く
- 比較記事または収益記事の下書きを作る

ここまでで、ブログの小さな部品がそろってきました。

ただし、まだこの段階では、それぞれの記事は「点」です。

核記事も、入口記事も、行動記事も、比較記事も、単体ではまだ弱いです。

次に必要なのは、これらの記事をつなげることです。

1. 入口記事から核記事へ
2. 核記事から行動記事へ
3. 行動記事からメルマガや収益記事へ

この流れができたとき、記事は点ではなく線になります。

次の第 5 部では、内部リンクを入れ、タイトルや導入文を整え、公開前チェックを行います。

記事を書いて終わりではありません。

読者が迷わず進める状態に整えていきましょう。

第 5 部：公開・整備編

Day26～Day30：最初の 1 円へ近づける

第 4 部では、核記事・入口記事・行動記事を書きました。

ここまで来ると、

「記事を書いたから、もう公開して終わり」

と思うかもしれません。

でも、ここで終わらせないことが大事です。

ブログは、記事を書いただけではまだ「点」です。

読者がどの記事から入り、どの記事で判断し、どの記事で行動するのか。

この流れを整えて、初めて「線」になります。

第 5 部では、書いた記事を公開できる状態に整え、内部リンクを確認し、最初の 1 円へ近づける準備をします。

ここでやることは、次の 5 つです。

- 内部リンクを入れる
- タイトル・導入文・アイキャッチを整える
- 公開前チェックをする
- 公開してインデックス登録をする
- 次の 30 日計画を決める

この 5 日間は、地味です。

でも、ここを飛ばすと、せっかく書いた記事がバラバラになります。

記事を書いて終わりではありません。

記事をつなげて、読者が迷わず進める状態に整えていきます。

Day26: 内部リンクを入れる

今日やること

書いた記事に内部リンクを入れます。

内部リンクとは、自分のブログ内の記事同士をつなぐリンクのことです。

ただし、ここで大事ななのは、関連している記事をなんとなく貼ることではありません。

内部リンクは、読者を次の判断へ進めるための導線です。

基本の流れ

まずは、次の流れを確認してください。

- 入口記事 → 核記事
- 核記事 → 行動記事
- 行動記事 → 収益記事またはメルマガ
- 比較記事 → 核記事または収益記事

この流れに沿って、リンクを入れていきます。

入口記事を読んだ人には、核記事へ進んでもらう。

核記事を読んだ人には、行動記事やメルマガへ進んでもらう。

行動記事を読んだ人には、必要に応じて収益記事や登録ページへ進んでもらう。

この流れを作ることで、記事が単体で終わりにくなります。

なぜこれをやるのか

記事を書いただけでは、読者は次にどこへ進めばいいか分かりません。

読者は、こちらが思っているほどブログ内を探してくれません。

だから、必要な場所で次の記事を案内します。

内部リンクは、読者への案内板です。

ただし、貼りすぎると逆に迷わせます。

リンクは多ければいいわけではありません。

必要な場所に、必要なリンクを置くことが大事です。

内部リンクを入れる場所

内部リンクは、次の場所に入れると自然です。

- ・悩みの根本を整理した直後
- ・「次に何を考えるべきか」が出た直後
- ・記事の後半
- ・まとめ前
- ・次に読む記事の位置

特に入口記事では、記事の最後に核記事へのリンクを入れます。

ただし、ただリンクだけを置かないようにしてください。

リンク前に、なぜその記事を読むべきなのかを一文入れます。

リンク前の文章例

入口記事から核記事へ送る場合は、次のような文章が使えます。

費用の不安が整理できたら、次は「ブログ副業を続けられるか」を考える段階です。

多くの人が途中で止まる理由と、それでも続く人の違いについては、こちらの記事で詳しく整理しています。

▶ ブログ副業は本当に稼げる？手が止まる理由と、続けるための考え方の例です。

この記事では、ブログを始める前の不安を整理しました。

ただ、本当に大事ななのは、作業を始める前に「どんな流れで進めるか」を決めることです。

作業型に戻らないための考え方は、こちらで詳しく解説しています。

▶ ブログ副業は本当に稼げる？手が止まる理由と、続けるための考え方

今日の作業

次の順番で確認してください。

- ① 入口記事から核記事へリンクを入れる
- ② 核記事から行動記事へリンクを入れる
- ③ 行動記事からメルマガ登録ページ、または収益記事へリンクを入れる
- ④ 比較記事から核記事または収益記事へリンクを入れる
- ⑤ リンク前の説明文を入れる
- ⑥ スマホでリンク位置を確認する

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- ・入口記事から核記事へ進める
- ・核記事から行動記事へ進める
- ・行動記事からメルマガ登録ページへ進める
- ・必要な場合は収益記事へ進める
- ・リンクが多すぎない
- ・リンク前の説明文がある
- ・読者が次に読む理由が分かる
- ・リンク切れがない

今日のゴール

記事を点ではなく、線につなげることです。

ここができれば、ブログはただの記事の集まりではなく、読者が進める流れになります。

Day27:タイトル・導入文・アイキャッチを整える

今日やること

記事の入口部分を整えます。

読者が最初に見るのは、タイトルです。

記事に入って最初に読むのは、導入文です。

そして、ブログ内や SNS、関連記事一覧で目に入るのが、アイキャッチです。

この 3 つが弱いと、記事の中身が良くても読まれにくくなります。

今日は、タイトル・導入文・アイキャッチを整えていきます。

タイトルを整える

タイトルは、読者に「この記事は自分のための記事だ」と思ってもらうための入口です。

タイトルで大事なものは、カッコよさではありません。

分かりやすさです。

次の点を確認してください。

- 検索する人の悩みと合っているか
- 本文の内容とズレていないか
- 初心者にも意味が伝わるか
- 結論や数字が入れられるか
- クリックしたくなる理由があるか

たとえば、

ブログの始め方

だけだと少し広すぎます。

ブログ副業の始め方 | 迷わないために最初に決める 6 つのこと

のようになると、読者が得られるものが分かりやすくなります。

導入文を整える

導入文では、読者の悩みを拾います。

いきなり説明から入るより、読者の不安や迷いを言葉にした方が読まれやすくなります。

導入文では、次の流れを意識してください。

- ① 読者の悩みを出す
- ② その悩みが自然であることを伝える
- ③ 結論を早めに出す
- ④ この記事で分かることを示す
- ⑤ 次に読み進める理由を作る

導入文が長すぎると、読者は疲れます。

逆に、短すぎると記事を読む理由が弱くなります。

読者の悩みを拾い、早めに結論を出す。

このバランスが大事です。

導入文の例

たとえば、ブログ初期費用の記事なら、次のような入り方ができます。

ブログ副業を始めたいけれど、初期費用がどれくらいかかるのか不安ではありませんか。

できるだけ安く始めたい。

でも、あとで無駄な出費はしたくない。

そう思うのは自然です。

結論から言うと、ブログ副業は月 1,000 円前後から始められます。

ただし、本当に大事なものは金額だけではありません。

安く始めても、順番を間違えると遠回りになります。

この記事では、ブログ副業の初期費用と、最初にお金をかける前に考えるべき順番を整理します。

アイキャッチを整える

アイキャッチは、記事の内容を一目で伝える画像です。

最初から凝りすぎる必要はありません。

ただし、最低限の統一感が必要です。

確認することは、次の通りです。

- 記事内容が一目で分かる
- 文字を詰め込みすぎしていない
- スマホでも読める
- 色や雰囲気ブログ全体と合っている
- 情報商材っぽくない
- シリーズ感がある

アイキャッチは、毎回バラバラに作るとサイト全体が散らかって見えます。

最初は、背景・文字色・配置をある程度固定すると楽です。

アイキャッチ文字の考え方

アイキャッチの文字は、短くします。

記事タイトルを全部入れる必要はありません。

たとえば、

ブログ初期費用はいくら？

よりも、

ブログ初期費用
いくら？

のように短くした方が見やすいこともあります。

登録ページ用なら、

ブログで迷わず
最初の 1 円まで進む
3 つの無料特典

のように、伝えたいことを絞ります。

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① 各記事のタイトルを確認する
- ② 本文とタイトルがズレていないか確認する
- ③ 導入文で読者の悩みを拾えているか確認する
- ④ 結論が遅すぎないか確認する
- ⑤ アイキャッチ文字を短く整える
- ⑥ スマホで見たときに読めるか確認する

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- タイトルが分かりやすい
- タイトルと本文が一致している
- 導入文で読者の悩みを拾えている
- 結論が早めに出ている
- アイキャッチ文字が読みやすい
- ブログ全体の雰囲気と合っている
- スマホ表示で違和感がない

今日のゴール

読まれる入口を整えることです。

記事の中身が良くても、タイトル・導入文・アイキャッチが弱いと読まれません。

読者が入りやすい入口を作りましょう。

Day28: 公開前チェックをする

今日やること

記事を公開する前の最終確認をします。

公開前チェックは、面倒に感じるかもしれませんが。

でも、ここで確認しておく、公開後の修正がかなり減ります。

特に初心者の方は、誤字脱字やリンクミス、見出しの崩れが起きやすいです。

今日は、公開前に最低限見ておくべき項目を確認します。

公開前に見ること

確認する項目は、次の通りです。

- 誤字脱字
- 見出し
- リスト
- 内部リンク
- CTA
- スマホ表示
- パーマリンク
- アイキャッチ
- メタディスクリプション
- カテゴリ
- 画像の表示
- 不要な空白

全部を完璧にしようとすると疲れます。

まずは、読者が読みにくくないか。

次に進む導線が切れていないか。

ここを優先してください。

見出しの確認

見出しは、記事の骨組みです。

次の点を確認してください。

- H1 を本文内で使っていないか
- H2 から順番に使えているか
- H2 の中に必要なら H3 を使っているか
- 見出しだけで内容の流れが分かるか
- 見出しが長すぎないか

WordPress では、記事タイトルが H1 になることが多いです。

本文内では、基本的に H2 以下を使います。

リストの確認

リストは、読者が内容を整理しやすくするために使います。

次のような場所は、リストにした方が読みやすくなります。

- 確認項目
- 手順
- 比較ポイント
- メリット
- デメリット
- 向いている人
- 向いていない人

文章でだらだら並べるより、リストにした方が伝わりやすいです。

ただし、リストだけで終わらせず、前後に説明文を入れましょう。

内部リンクの確認

内部リンクは、必ずクリックして確認します。

見た目上はリンクになっていても、URL が間違っていることがあります。

確認することは次の通りです。

- リンク先が正しい
- リンク切れしていない
- 別の記事に飛んでいない
- リンク前の説明文がある
- リンクが多すぎない
- 読者が次に読む理由が分かる

内部リンクは、導線の命です。

公開前に必ず確認してください。

CTA の確認

CTA とは、Call To Action(行動喚起)の略で、読者に次の行動を促すためのボタンや案内文のことです。たとえば、

- メルマガ登録
- 無料特典の受け取り
- レビュー記事への移動
- 公式ページの確認
- 次に読む記事

などです。

CTA は、ただボタンを置けばいいわけではありません。

読者が「なぜここを押すのか」が分かるように、前後の文章を整えます。

スマホ表示の確認

ブログはスマホで読まれることが多いです。

パソコンで見えてきれいでも、スマホでは読みにくいことがあります。

次の点を確認してください。

- 文字が詰まりすぎていない
- リストが崩れていない
- アイキャッチ文字が読める
- ボタンが押しやすい
- 画像が大きすぎない
- 不要な空白がない
- リンクが押しにくい

スマホで読みにくい記事は、途中で離脱されやすくなります。

必ずスマホで確認しましょう。

メタディスクリプションの確認

メタディスクリプションは、検索結果に表示される説明文です。

必ず思い通りに表示されるわけではありませんが、設定しておく価値はあります。

書くときは、次の点を意識します。

- 記事の内容が分かる
- 検索キーワードを自然に含める
- 読みたくなる理由がある
- 長すぎない

たとえば、

ブログ副業の初期費用はいくらかかるのかを初心者向けに解説します。必要な費用、不要な出費、始める前に考えるべき順番を整理します。

このくらいで OK です。

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① 記事をプレビューで確認する
- ② 見出しの流れを見る
- ③ 誤字脱字を確認する
- ④ リストや表が崩れていないか見る
- ⑤ 内部リンクをクリックする
- ⑥ CTA の前後の文章を確認する
- ⑦ アイキャッチを確認する
- ⑧ パーマリンクを確認する
- ⑨ メタディスクリプションを入れる
- ⑩ スマホ表示を確認する

チェックリスト

今日の最後に、次の項目を確認してください。

- 誤字脱字を確認した
- 見出しが H2 以下で整っている
- リストが読みやすい
- 内部リンクが正しく動く
- CTA が自然に置かれている
- スマホで読みにくくない
- パーマリンクを設定した
- アイキャッチを設定した
- メタディスクリプションを入れた
- 公開しても問題ない状態になっている

今日のゴール

最低限きれいな状態で公開できるようにすることです。

完璧を目指しすぎなくて大丈夫です。

ただし、読者が迷わず読める状態には整えておきましょう。

Day29：公開してインデックス登録をリクエストする

今日やること

記事を公開し、Google に認識してもらう準備をします。

ここまで来たら、いよいよ公開です。

ただし、公開して終わりではありません。

公開後に、URL の確認、スマホ表示の確認、内部リンクの確認、インデックス登録のリクエストまで行います。

記事を公開する

まず、WordPress で記事を公開します。

公開前に、もう一度だけ次の項目を見てください。

- ・タイトル
- ・パーマリンク
- ・アイキャッチ
- ・カテゴリ
- ・メタディスクリプション
- ・内部リンク
- ・CTA
- ・スマホ表示

問題がなければ、公開します。

公開したら、実際のURL を開いて確認してください。

プレビュー画面ではなく、公開後の画面で見るのが大事です。

公開後に確認すること

公開後は、次の点を確認します。

リクエストを送っても、クロールやインデックス登録は保証されません。繰り返し送れば早く登録されるというものでもありません。

公式：<https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/ask-google-to-recrawl?hl=ja>

- 記事が表示される
- タイトルが正しく表示される
- アイキャッチが表示される
- 内部リンクがクリックできる
- ボタンが押せる
- 画像が崩れていない
- スマホで読める
- 不要な空白がない

特にスマホ表示は必ず確認してください。

パソコンでは問題なくても、スマホでは余白や画像サイズが気になることがあります。

サーチコンソールでインデックス登録をリクエストする

Google に記事を見つけてもらうために、サーチコンソールで URL 検査を行います。

やることは次の通りです。

- ① Google サーチコンソールを開く
- ② 公開した記事 URL を入力する
- ③ URL 検査をする
- ④ 「インデックス登録をリクエスト」を押す
- ⑤ 完了表示を確認する

これで、Google に「この記事を見てください」と知らせることができます。

すぐに検索結果に出るわけではありません。

ただ、公開後にやっておくと安心です。

インデックス登録の注意点

インデックス登録をリクエストしても、必ずすぐに登録されるわけではありません。

数日かかることもあります。

すぐに検索結果に出ないからといって、慌てる必要はありません。

まずは、次の記事や導線整備に進みましょう。

公開後にやらなくていいこと

公開直後に、次のことをやりすぎなくて OK です。

- 何度も検索順位を確認する
- 数時間ごとにサーチコンソールを見る
- すぐにタイトルを変える
- すぐに本文を大幅修正する
- アクセスがないと落ち込む

公開直後は、まだ判断するには早いです。

まずは記事を公開し、導線を整え、次の作業へ進みます。

今日の作業

次の順番で進めてください。

- ① 記事を公開する
- ② 公開 URL を開く
- ③ パソコンで表示確認する
- ④ スマホで表示確認する
- ⑤ 内部リンクをクリックする
- ⑥ CTA を確認する
- ⑦ サーチコンソールで URL 検査する
- ⑧ インデックス登録をリクエストする
- ⑨ 公開した URL をメモする
- ⑩ 次に整える記事をメモする

公開 URL 管理シート

公開した記事は、簡単にメモしておく与管理しやすいです。

次の形で残してください。

- 公開日：
- 記事タイトル：

- URL:
- 記事の役割: 入口記事／核記事／行動記事／比較記事／収益記事
- リンク先:
- メタディスクリプション設定: 済／未
- インデックス登録リクエスト: 済／未
- 次に見直す日:

今日のゴール

検索に出る準備をすることです。

記事は公開した瞬間に完成ではありません。

公開して、Google に認識され、読者に届き、反応を見ながら育てていきます。

Day30: 次の 30 日計画を決める

今日やること

ここまですを振り返り、次の 30 日でやることを決めます。

30 日間、お疲れさまでした。

ここまで進めた時点で、あなたはただ記事を書いただけではありません。

- ブログの目的を決めました。
- 読者像を決めました。
- 核記事を決めました。
- 導線を考えました。
- WordPress を立ち上げました。
- 記事を書きました。
- 内部リンクを入れました。
- 公開前チェックをしました。
- 記事を公開しました。

これは大きな前進です。

ただし、ここで終わりではありません。

最初の 1 円は、ここから近づいていきます。

まず確認すること

次の項目を確認してください。

- ブログの目的は変わっていないか
- 読者像はズレていないか
- 核記事は機能しそうか
- 入口記事は足りているか
- 行動記事は分かりやすいか
- 収益記事は自然につながっているか
- メルマガ導線は自然か
- 内部リンクは分かりやすいか
- 読者が次に何をすればいいか分かるか

ここで大事なのは、完璧かどうかではありません。

次に何を直せばいいかが見えることです。

次の 30 日でやること

次の 30 日では、いきなり大きく広げすぎないようにします。

まずは、小さな導線を強くします。

候補は次の通りです。

- 入口記事を追加する
- 核記事を読みやすくする
- 行動記事を整える
- メルマガ登録ページを改善する
- 収益記事を整える
- 内部リンクを見直す
- アイキャッチを統一する
- サーチコンソールで表示が出た記事を見る
- クリックされている記事を優先して改善する

最初から全部やる必要はありません。

次の 30 日で、優先することを 3 つに絞ってください。

優先順位の決め方

次の順番で考えると決めやすいです。

- ① まず核記事を強くする
- ② 次に核記事へ送る入口記事を増やす
- ③ その次に行動記事や収益記事への流れを整える

つまり、

入口記事を増やす前に、核記事を確認します。

核記事が弱いまま入口記事を増やしても、読者が流れません。

核記事が整っているなら、入口記事を追加します。

入口記事から核記事へ流れているなら、行動記事や収益記事への導線を整えます。

次の 30 日計画シート

次の形で書き出してください。

- 次の 30 日で一番強化する記事：
- 追加する入口記事：
- 見直す内部リンク：
- 整える CTA：
- 改善するアイキャッチ：
- メルマガ登録ページの改善点：
- 収益記事の改善点：
- 次に書く記事タイトル案：
- 次回サーチコンソールを見る日：

30 日完了チェック

最後に、ここまでできたことを確認します。

- ✓ ブログの目的を決めた
- ✓ 読者像を決めた
- ✓ 読者の迷いを書き出した
- ✓ 収益の出口を決めた
- ✓ 核記事を決めた
- ✓ 線サイトか面サイトか判断した
- ✓ 最初の 10 記事を決めた
- ✓ 核記事の構成を作った
- ✓ 入口記事の役割を決めた
- ✓ 行動記事を決めた
- ✓ 比較記事を決めた
- ✓ 収益記事の位置を決めた
- ✓ 内部リンクの流れを作った
- ✓ WordPress を立ち上げた
- ✓ 初期設定をした
- ✓ 記事投稿方法を確認した
- ✓ 核記事を書いた
- ✓ 入口記事を書いた
- ✓ 行動記事を書いた
- ✓ 内部リンクを入れた
- ✓ タイトルを整えた
- ✓ 導入文を整えた
- ✓ アイキャッチを整えた
- ✓ 公開前チェックをした
- ✓ 記事を公開した
- ✓ インデックス登録をリクエストした
- ✓ 次の 30 日計画を決めた

すべてにチェックが入らなくても大丈夫です。

大事なのは、ここで止まらないことです。

できていない項目があれば、次の 30 日で整えれば OK です。

今日のゴール

次の一步を決めることです。

30日で完璧なブログを作る必要はありません。

ただし、30日で「迷わず進むための流れ」は作れます。
この流れができれば、次に何をすればいいかが見えます。

第5部のまとめ

第5部では、記事を公開する前後の整備を行いました。

やったことは、次の通りです。

- ・内部リンクを入れる
- ・タイトルを整える
- ・導入文を整える
- ・アイキャッチを整える
- ・公開前チェックをする
- ・記事を公開する
- ・インデックス登録をリクエストする
- ・次の30日計画を決める

ここまで来ると、ブログは少しずつ「点」から「線」になっていきます。

記事は単体では弱いです。

でも、入口記事から核記事へ流れ、核記事から行動記事へ進み、必要な読者がメルマガや収益記事へ進む。

この流れができると、ブログは動き始めます。

最初の1円は、ゴールではありません。

あなたのブログが、ただの記事の集まりではなく、成果を確認できた一つの節目です。流れ全体は別に確かめます。

次の「おわりに」では、この30日設計書の最後として、最初の1円の意味と、ここから先の進め方を整理します。

おわりに：1円はゴールではなく、成果を確認する最初の節目

ここまで、30日間の流れを整理してきました

1. ブログの目的を決める
2. 読者を決める
3. 読者の迷いを書き出す
4. 収益の出口を決める
5. 核記事を決める
6. 入口記事を作る
7. 内部リンクでつなげる
8. WordPress を立ち上げる
9. 記事を書き、公開し、次の30日へ進む

やることは、決して少なくありません。

もしかすると、

「思っていたより大変そうだな」

と感じたかもしれません。

でも、それで大丈夫です。

ブログ副業は、ボタンを押したらすぐに収益が出るものではありません。

記事を1本書いただけで、急に人生が変わるものでもありません。

それでも、ブログには大きな魅力があります。

それは、積み上げられることです。

最初の1円には意味がある

この設計書では、何度も「最初の1円」という言葉を使ってきました。
ただし、最初の1円は、金額として大きいものではありません。

1円だけで生活は変わりません。

1円だけで会社を辞められるわけでもありません。

でも、最初の1円には大きな意味があります。

それは、あなたのブログが、

- ・読者に届いた
- ・記事が読まれた
- ・導線が動いた
- ・誰かが反応した
- ・収益の流れが一度つながった

かどうかを振り返るきっかけになるからです。

最初の1円は、ゴールではありません。

どの記事や導線が役立ったのかを、記録を見ながら確かめる節目です。

大きく稼ぐ前に、小さく動かす

ブログでいきなり大きく稼ごうとすると、苦しくなります。

- ・アクセスが少ない
- ・収益が出ない
- ・記事を書いても反応がない
- ・他の人の成果が気になる
- ・自分だけ遅れている気がする

最初の1円の捉え方

ブログ経由の成果が承認されたことは一つの節目です。ただし、その1件だけで導線全体の有効性や継続利益が証明されるわけではありません。セルフバックによる報酬はブログ経由の成果とは分けて記録します。

こうした気持ちは、自然です。

でも、最初から大きな成果だけを見てしまうと、目の前の小さな前進を見落とします。

まず大事ななのは、大きく稼ぐことではありません。

小さく動かすことです。

- 入口記事から核記事へ読者が進む
- 核記事から行動記事へ進む
- メルマガ登録ページがクリックされる
- 無料特典が受け取られる
- 収益記事が読まれる

こうした小さな動きが、あとから大きな流れになります。

ブログは、一気に完成するものではありません。

小さな流れを作り、整え、少しずつ強くしていくものです。

迷ったら、作業ではなく流れに戻る

この先、ブログを続けていくと、必ず迷う場面があります。

- 何を書けばいいか分からない
- この方向で合っているのか不安になる
- アクセスが増えない
- 収益につながらない
- 別のやり方が気になる
- 教材やノウハウを追加で探したくなる

そのときは、いきなり新しい作業を増やさないでください。

まず、流れに戻ってください。

- 誰に向けているのか
- どんな迷いを拾っているのか
- 核記事は機能しているのか

- 入口記事から核記事へ流れているのか
- 行動記事や収益記事へ自然につながっているのか
- 読者は次に何をすればいいか分かるのか

迷ったときに戻るべき場所は、作業量ではありません。

導線です。

記事を増やす前に、流れを見る。

これだけで、無駄な遠回りはかなり減ります。

完璧に進めなくていい

この 30 日設計書を、すべて完璧に進められなくても大丈夫です。

- 1 日で 1 日分ずつ進めてもいい
- 週末にまとめて進めてもいい
- すでに WordPress がある人は、開設編を飛ばしてもいい
- 途中で戻って、Day1 や Day5 を見直してもいい

大事なのは、きれいに消化することではありません。

作業に入る前に、流れを決めることです。

そして、進めながら整えることです。

- ブログは、あとから直せます
- タイトルも直せます
- 導入文も直せます
- 内部リンクも直せます
- アイキャッチも直せます
- 記事の順番も見直せます

最初から完璧である必要はありません。

でも、何も決めずに走り出すと、あとから大きく迷います。

だから、まずは小さな設計図を持って進んでください。

次の 30 日でやること

この 30 日が終わったら、次にやるべきことはシンプルです。

- 核記事を見直す
- 入口記事を増やす
- 内部リンクを整える
- メルマガ登録ページを改善する
- 収益記事を整える
- サーチコンソールで反応を見る
- 反応が出た記事を優先して改善する

いきなり全部やる必要はありません。

次の 30 日では、まず 1 つだけ決めてください。

どの導線を強くするのか。

- 入口を増やすのか
- 核記事を強くするのか
- 行動記事を整えるのか
- 収益記事への流れを改善するのか

この視点があると、ブログは作業ではなく改善になります。

最後に

最後に、もう一度だけお伝えします。

最初の1円は、ゴールではありません。

それは、あなたのブログが、

ただの記事の集まりではなく、

成果を確認できた一つの節目です。流れ全体は別に確かめます。

ブログは、記事数だけで積み上がるものではありません。

迷いを拾い、

判断へ導き、

行動へ進める。

その流れがつながったとき、

ブログは初めて「資産」になっていきます。

焦らなくて大丈夫です。

派手じゃなくて大丈夫です。

大切なのは、迷ったまま走り続けることではありません。

読者が迷わず進める流れを、

ひとつずつ作っていくことです。

記事は点です。

導線は線です。

点が線になり、

線が流れになり、

流れが信頼になったとき、

ブログは静かに積み上がります。

まずは、最初の1円へ。

それは小さな金額ではなく、
実践を振り返るための、最初の節目です。

巻末チェックリスト

30 日完了チェックシート

この 30 日設計書は、読むだけで終わらせるためのものではありません。

実際に書き出し、決めて、作り、つなげていくための設計書です。

ただし、すべてを完璧に終わらせる必要はありません。

大事なのは、今どこまで進んでいるのかを確認し、次に何を整えるべきかを見えるようにすることです。

このチェックシートを使って、30 日間でできたことを確認してください。

第 1 部：準備編チェック

まずは、ブログを作る前に決めることです。

ここが曖昧なままだと、WordPress を作った後や記事を書き始めた後に迷いやすくなります。

チェックしてみてください。

- ☒ ブログを始める目的を決めた
- ☒ 最初の 1 円を目指す理由を言葉にした
- ☒ ブログに使える時間を確認した
- ☒ 誰に向けて書くか決めた
- ☒ 読者が抱えている不安を書き出した
- ☒ 読者が避けたい失敗を書き出した
- ☒ 読者が知りたいことを書き出した
- ☒ 収益の出口を決めた
- ☒ メルマガや無料特典など、途中の導線を考えた
- ☒ 核記事を決めた
- ☒ 線サイト向きか面サイト向きか判断した
- ☒ 最初の 10 記事を決めた

すべてにチェックが入らなくても大丈夫です。

ただし、

- 誰に向けるのか
- 核記事は何か
- どこへ読者を導くのか

この3つだけは、できるだけ早めに決めてください。

ここが決まると、記事作成の迷いがかなり減ります。

第2部:設計編チェック

次は、記事同士のつながりです。

記事は、単体で存在しているだけでは弱いです。

入口記事から核記事へ。

核記事から行動記事へ。

行動記事から登録ページや収益記事へ。

この流れができているか確認してください。

- ☒ 核記事の見出し構成を作った
- ☒ 核記事で読者に渡す判断基準を決めた
- ☒ 入口記事ごとに拾う悩みを決めた
- ☒ 入口記事から核記事へのリンク先を決めた
- ☒ 行動記事を決めた
- ☒ 比較記事を決めた
- ☒ 収益記事の位置を決めた
- ☒ メルマガ登録ページへの流れを決めた
- ☒ 内部リンクの流れを作った
- ☒ リンク前の説明文を考えた
- ☒ ブログ全体の導線図を書いた
- ☒ 作業に入る前に、全体の流れを確認した

このパートで大事ななのは、記事を点で考えないことです。

記事を書く前に、どこからどこへ読者を進めるのかを決めておきましょう。

第3部：WordPress 開設編チェック

次は、WordPress の土台作りです。

この部分は、別冊の WordPress 立ち上げ実践マニュアル一式を見ながら進めてください。

30 日設計書では、細かい画面操作よりも「どこまで終わっていればよいか」を確認します。

- ☒ 無料ブログとWordPressの違いを確認した
- ☒ WordPressで始める理由を理解した
- ☒ レンタルサーバーを契約した
- ☒ 独自ドメインを取得した
- ☒ WordPressをインストールした
- ☒ WordPress管理画面にログインできる
- ☒ ブログURLを確認した
- ☒ Cocoonテーマを設定した
- ☒ サイトタイトルを設定した
- ☒ キャッチフレーズを設定した、または空欄にした
- ☒ パーマリンクを「投稿名」に設定した
- ☒ SSL化を確認した
- ☒ 必要最低限のプラグインを入れた
- ☒ 記事投稿画面を開ける
- ☒ 下書き保存ができる

ここで完璧なデザインを作る必要はありません。

目的は、記事を書ける状態にすることです。

見た目の細かい調整は、記事を書きながら少しずつ整えていけば大丈夫です。

このチェックは新規開設の場合です。すでに動いている設定は維持し、不要な再契約・再設定をしません。別冊がない場合は、p.37の案内に従って公式手順を確認します。

第 4 部：記事作成編チェック

次は、実際の記事作成です。

ここでは、記事数よりも役割を意識してください。

核記事は判断させる記事。

入口記事は悩みを拾う記事。

行動記事は次の一步を示す記事。

比較記事は迷いを整理する記事。

収益記事は必要な選択肢を提示する記事です。

- ☒ WordPress の記事投稿方法を確認した
- ☒ 投稿と固定ページの違いを理解した
- ☒ 見出しの使い方を確認した
- ☒ リストの使い方を確認した
- ☒ 画像やアイキャッチの設定方法を確認した
- ☒ 核記事を書き始めた
- ☒ 核記事を最後まで書いた
- ☒ 核記事に判断基準を入れた
- ☒ 核記事から次の記事への流れを入れた
- ☒ 入口記事 1 を書いた
- ☒ 入口記事 2 を書いた
- ☒ 入口記事 3 を書いた
- ☒ 入口記事から核記事への流れを入れた
- ☒ 行動記事を書いた
- ☒ 比較記事または収益記事の下書きを作った

最初から多くの記事を完成させる必要はありません。

まずは、

- 核記事
- 入口記事数本
- 行動記事

この小さな線を作ることを優先してください。

第 5 部：公開・整備編チェック

最後は、公開前後の整備です。

記事を書いただけでは、まだブログは動きません。

読者がどこから入り、どこへ進むのか。

その流れを整えることで、記事は線になります。

- ✓ 入口記事から核記事へ内部リンクを入れた
- ✓ 核記事から行動記事へ内部リンクを入れた
- ✓ 行動記事からメルマガ登録ページ、または収益記事へリンクを入れた
- ✓ リンク前の説明文を入れた
- ✓ タイトルと本文内容がズレていないか確認した
- ✓ 導入文で読者の悩みを拾えているか確認した
- ✓ 結論が遅すぎないか確認した
- ✓ アイキャッチを設定した
- ✓ アイキャッチ文字がスマホでも読めるか確認した
- ✓ 誤字脱字を確認した
- ✓ 見出しが H2 以下で整っているか確認した
- ✓ リストが読みやすいか確認した
- ✓ CTA を確認した
- ✓ CTA とは、読者に次の行動を促すためのボタンや案内文であることを理解した
- ✓ スマホ表示を確認した
- ✓ パーマリンクを設定した
- ✓ メタディスクリプションを入れた
- ✓ 記事を公開した
- ✓ サーチコンソールでインデックス登録をリクエストした
- ✓ 公開 URL をメモした
- ✓ 次の 30 日計画を決めた

この整備ができると、ブログはかなり見やすくなります。

読者が迷わず次に進める状態を目指してください。

最低限ここだけやれば OK

30 日分をすべて完璧にこなせない場合は、まずこの 5 つだけでもやってください。

1. Day1: ブログの目的を決める
2. Day3: 読者の迷いを書き出す
3. Day5: 核記事を決める
4. Day7: 最初の 10 記事を決める
5. Day13: 内部リンクの流れを作る

この 5 つだけでも、何も考えずに作業を始めるより、かなり迷いにくなります。

時間がない人は、まずここから始めてください。

次の 30 日へ進む前に確認すること

30 日が終わったら、次の 30 日へ進みます。

その前に、次の項目を確認してください。

- 核記事は読者の判断を助ける内容になっているか
- 入口記事から核記事へ自然に流れているか
- 行動記事で次にやることが分かるか
- メルマガ登録ページへの導線は自然か
- 収益記事への流れは早すぎないか
- タイトルと導入文は読者の悩みと合っているか
- 内部リンクは多すぎないか
- 読者が次に何をすればいいか分かるか

次の 30 日でやることは、ここから選びます。

全部を直す必要はありません。

まずは、今いちばん弱い導線を 1 つだけ決めて、そこから整えていきましょう。

巻末チェックリストのまとめ

この 30 日設計書で大事ななのは、すべてを完璧に終わらせることではありません。

大事ななのは、作業に入る前に流れを決めることです。

- 誰に向けるのか
- どんな迷いを拾うのか
- どの記事で判断してもらうのか
- どこへ行動してもらうのか
- 最終的にどこへ導くのか

ここが見えると、ブログはただの記事作成ではなくなります。

記事は点です。

導線は線です。

まずは、小さな線を作る。

その線を整えながら、少しずつブログを積み上げていきましょう。